



レカム・マルチメディアホームシステム

# FX

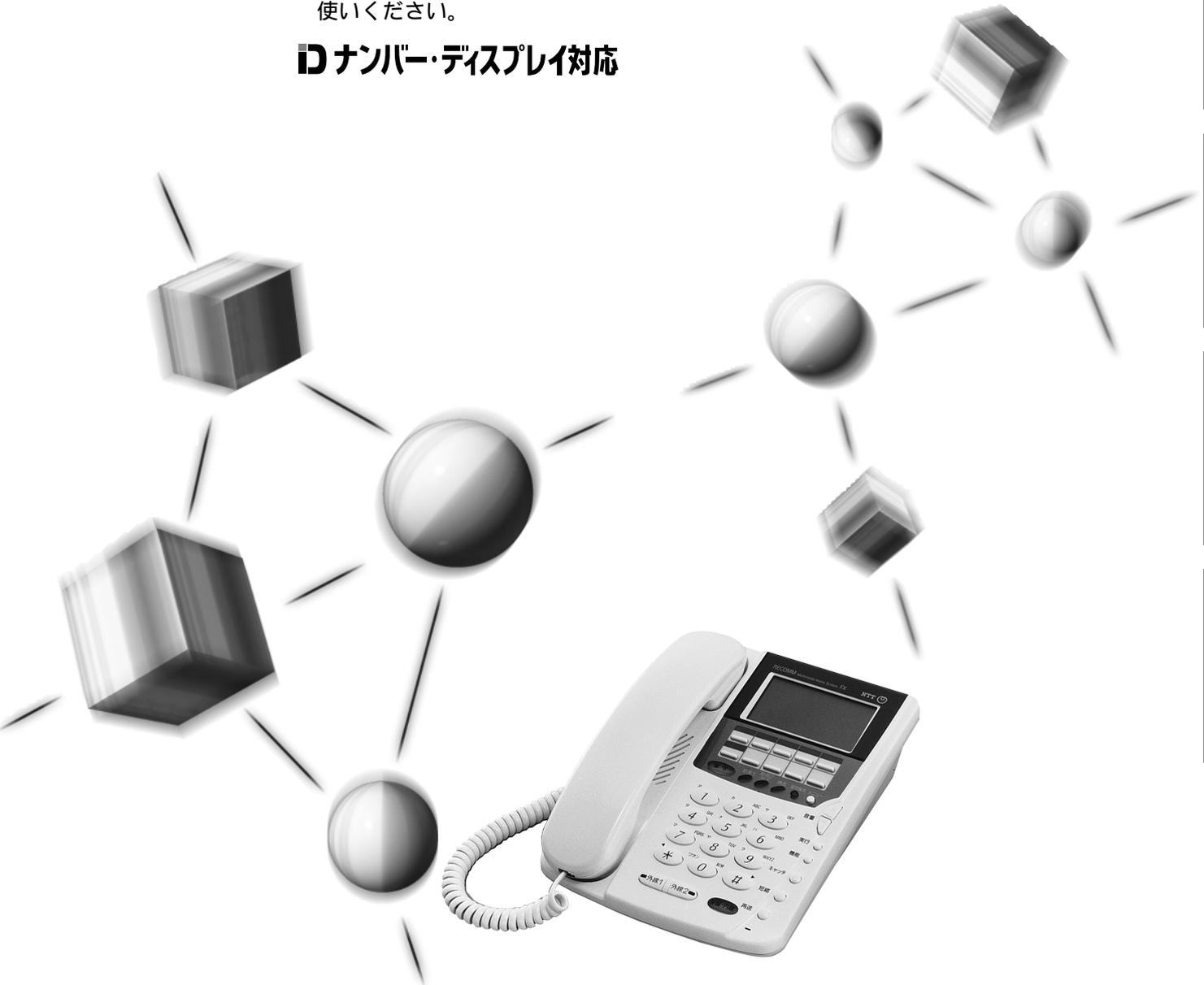
## 留守番停電電話機 取扱説明書

このたびは、留守番停電電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

**IDナンバー・ディスプレイ対応**



技術基準適合認定品

FX-RPTEL A

FX-RPTEL I

1  
前に  
お使いになる

2  
使う  
留守番電話を

3  
する  
リモコン操作

4  
用件を転送する

5  
より便利に使う

6  
ご参考に

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

## 本書中のマーク説明

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

レカム・マルチメディアホームシステムFX 留守番停電電話機は、レカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプに接続してお使いいただけます。

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。

操作早見表 をご使用の際は、必ず 取扱説明書 をよく読み理解したうえでお使いください。

この取扱説明書とともに、必ずレカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

## ⚠ 警告

万一煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電話機コードを差込口から抜いて、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

本商品をぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となることがあります。

本商品のすきまから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電話機コードを抜いて、当社のサービス取扱所に連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解・改造した場合、修理に応じられない場合があります）。

本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりねじったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電話機コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電話機コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

電話機コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電話機コードを抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

お客様が用意された機器を本商品とともに接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

本商品を調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本商品をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

## ⚠ 注意

本商品を壁に取り付ける場合は、本商品の重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。

本商品の底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

電話機コードを抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。電話機コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。本商品や電話機コードを熱器具に近づけないでください。本商品や電話機コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

万一、本商品の内部に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品を電話機コードから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

電話機パネルの取り外しには、先のとがったものを利用してください。指や爪で行うと、けがの原因となることがあります。

## STOP お願い

本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

ハンドセットを逆方向に置かないでください。正常に動作できないことがあります。

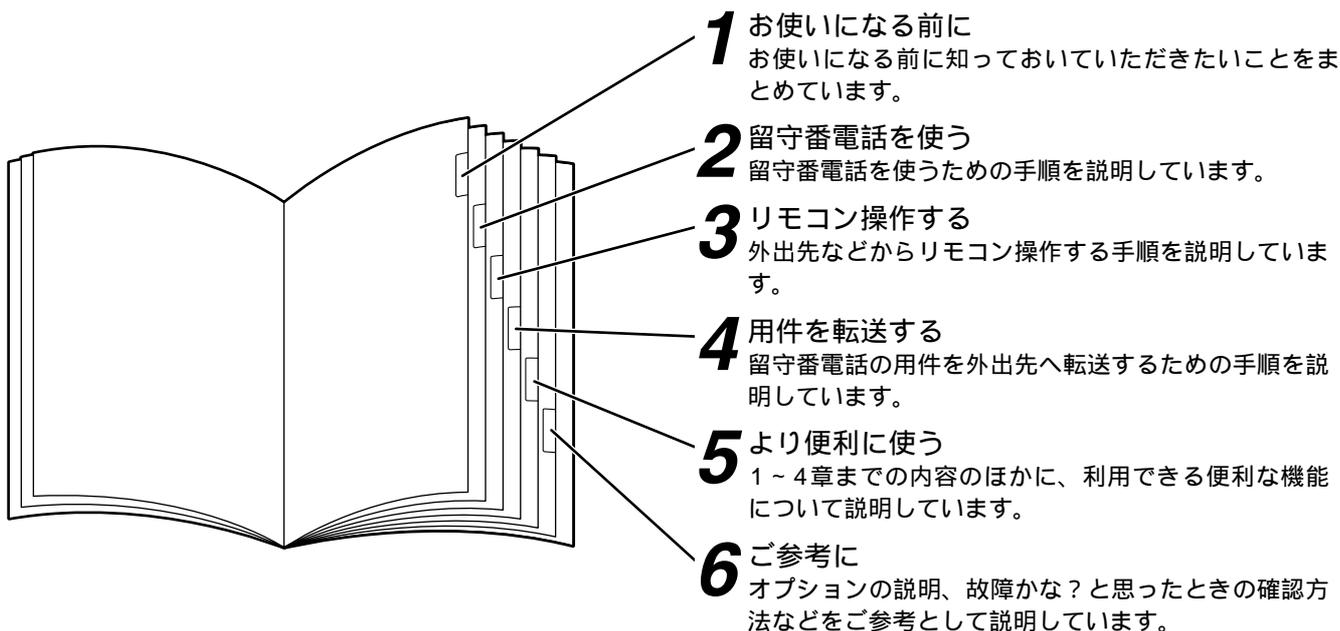
故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。

- 製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
  - 塵・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
- 電気製品・AV・OA機器など磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、雑音が大ききときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。本商品は平らな面に置いてお使いください。

# この取扱説明書の見方

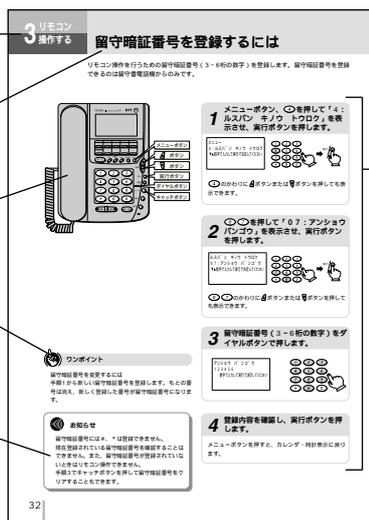
この取扱説明書では、レカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプに接続した場合にご利用になれる基本操作と留守番機能について説明しています。電話をかけたり受けたりする操作、その他の機能や登録・設定については、レカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプの取扱説明書の標準電話機の操作と同じですので、合わせてご覧ください。

## この取扱説明書の構成



## 操作説明のページの構成

- 章タイトル**  
章ごとにタイトルが付けられています。
- タイトル**  
目的ごとにタイトルが付けられています。
- 電話機イラスト**  
操作で使うボタンなどの位置を示します。
- ワンポイント**  
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示します。
- お願いまたはお知らせ**  
**お願い**  
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を發揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。  
**お知らせ**  
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



**操作手順説明**  
順番に操作を説明します。



### お知らせ

本文中のシステム設定とは、システム設置時にあらかじめ工事者が登録・設定することを示します。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください・・・2  
この取扱説明書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

## 1 お使いになる前に

特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6  
セットを確認してください・・・・・・・・・・・・7  
各部の名前・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

## 2 留守番電話を使う

留守番電話として使うには・・・・・・・・・・・・13  
留守番電話を便利に使うには・・・・・・・・・・・・16  
留守番電話の便利な使い方・・・・・・・・・・・・16  
留守番電話のいろいろな使い方・・・・・・・・・・・・17  
留守番電話をセットするには・・・・・・・・・・・・18  
留守番電話を解除するには・・・・・・・・・・・・20  
録音された用件を聞くには・・・・・・・・・・・・22  
表示されている連絡先に電話をかけるには  
（連絡先発信）・・・・・・・・・・・・24  
応答メッセージを録音するには・・・・・・・・・・・・26  
伝言メッセージを録音／再生するには・・・・・・・・・・・・28  
伝言メッセージを録音する・・・・・・・・・・・・28  
伝言メッセージを再生する・・・・・・・・・・・・29

## 3 リモコン操作する

リモコン操作でできること・・・・・・・・・・・・30  
留守暗証番号を登録するには・・・・・・・・・・・・32  
外出先または他の内線電話機から用件を聞くには・・・33  
対話形式でリモコン操作する・・・・・・・・・・・・33  
番号でリモコン操作する  
（ダイレクトリモコン）・・・・・・・・・・・・35  
番号でできるリモコン操作  
（ダイレクトリモコン操作番号）・・・・・・・・・・・・37

## 4 用件を転送する

用件を外出先へ転送するには(転送)・・・・・・・・・・・・38  
転送先を登録するには・・・・・・・・・・・・39  
転送先種別を設定する・・・・・・・・・・・・39  
転送先の電話番号を登録する・・・・・・・・・・・・40  
転送に使う外線を設定する・・・・・・・・・・・・41  
転送をセットするには・・・・・・・・・・・・42  
転送先で用件を受けるには・・・・・・・・・・・・43

## 5 より便利に使う

外の相手の方とのお話を録音するには  
（通話中録音）・・・・・・・・・・・・45  
録音されている用件を外の相手の方と聞くには  
（通話中再生）・・・・・・・・・・・・46  
相手確かめてから電話に出るには  
（居留守応答）・・・・・・・・・・・・47  
留守連携機能を使うには・・・・・・・・・・・・48  
メニューの流れ・・・・・・・・・・・・50  
いろいろな機能を登録・設定するには・・・・・・・・・・・・52

## 6 ご参考に

オプションをご利用になるには・・・・・・・・・・・・56  
付属品をご利用になるには・・・・・・・・・・・・57  
設置と接続について・・・・・・・・・・・・58  
こんな音がしたら・・・・・・・・・・・・59  
停電になったときは・・・・・・・・・・・・60  
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・63  
索引・・・・・・・・・・・・67  
操作早見表・・・・・・・・・・・・69  
リモコンカード・・・・・・・・・・・・77  
仕様／保守サービスのご案内・・・・・・・・・・・・79

# 特長

## すぐに使える留守番電話

応答メッセージなどの準備をしなくてもすぐに留守番電話として使えます。(●P13)



## 便利なりモコン操作

外出先からリモコン操作で、留守番電話をセットしたり、留守中に録音された用件を聞くことができます。(●P30)



## 2種類の録音応答メッセージ

自分の声で応答メッセージを2種類録音することができます。平日用と休日用、昼間用と夜間用など、応答メッセージの使い分けができます。(●P26)



## 伝言メッセージの利用

メッセージの使い方を変更すると、応答メッセージ2のかわりに伝言メッセージを利用することができます。電話機を使って伝言のやりとりが行えます。(●P28)



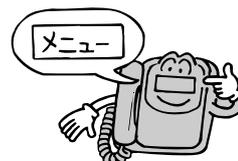
## デジタル録音

デジタル録音方式だからカセットテープが不要で、しかも送り、戻しが速く、すぐにメッセージの再生ができます。



## メニューによる簡単設定

留守番電話機のディスプレイを見ながら、メニュー形式で留守番機能などいろいろな登録・設定が簡単に行えます。(●P50)



## 停電時でも発信、着信が可能

停電になっても、電話をかけたり、受けたりすることができます。(●P60)



## ISDN回線のご利用

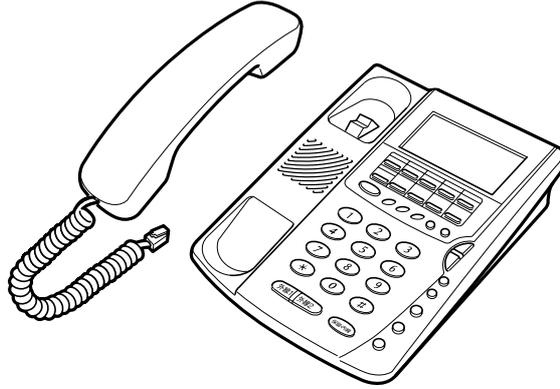
ISDN回線をご利用の場合は、INSボイスワープなどのINSネットの便利な機能をご利用になれます。詳しくは、レカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書を参照してください。

## ナンバー・ディスプレイ(発信電話番号表示サービス)

電話をかけてきた相手の方の電話番号(発信電話番号)や電話番号を通知できない理由をディスプレイに表示するなどの機能をご利用になれます。詳しくは、レカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書を参照してください。

# セットを確認してください

## 本体（1台）

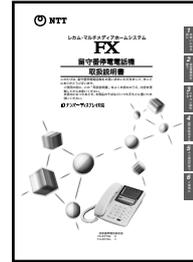


アナログ回線用 / ISDN回線用

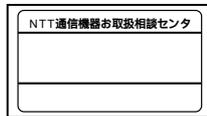
## 付属品



電話機用シール  
（1枚）



取扱説明書  
（1部）



「NTT通信機器お取扱  
相談センター」シール  
（1枚）

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

1  
前に  
お使いになる

2  
使う  
留守番電話を

3  
する  
リモコン操作

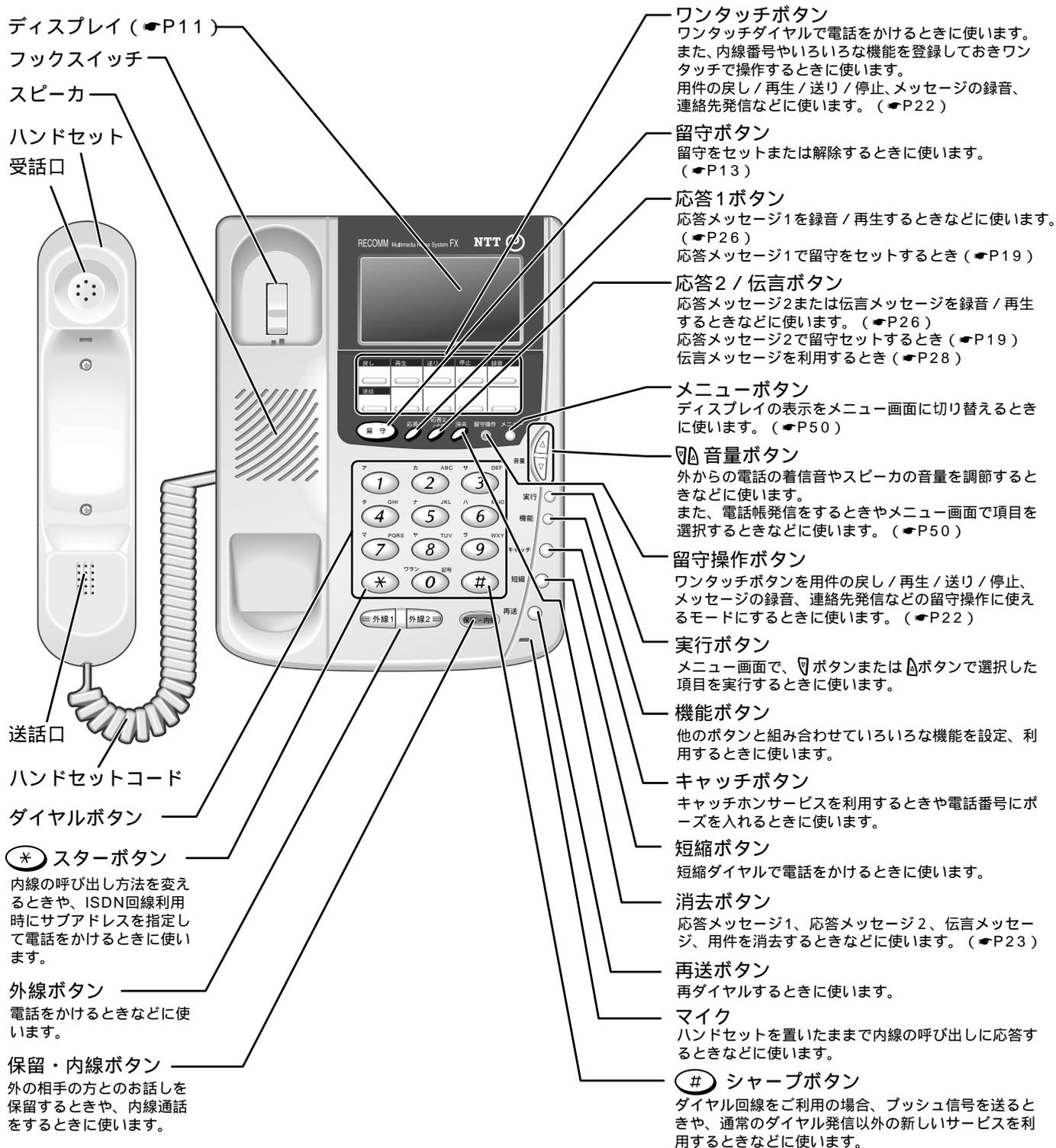
4  
用件を転送する

5  
より便利に使う

6  
ご参考に

# 各部の名前

## 留守番停電電話機（アナログ回線用 / ISDN回線用）



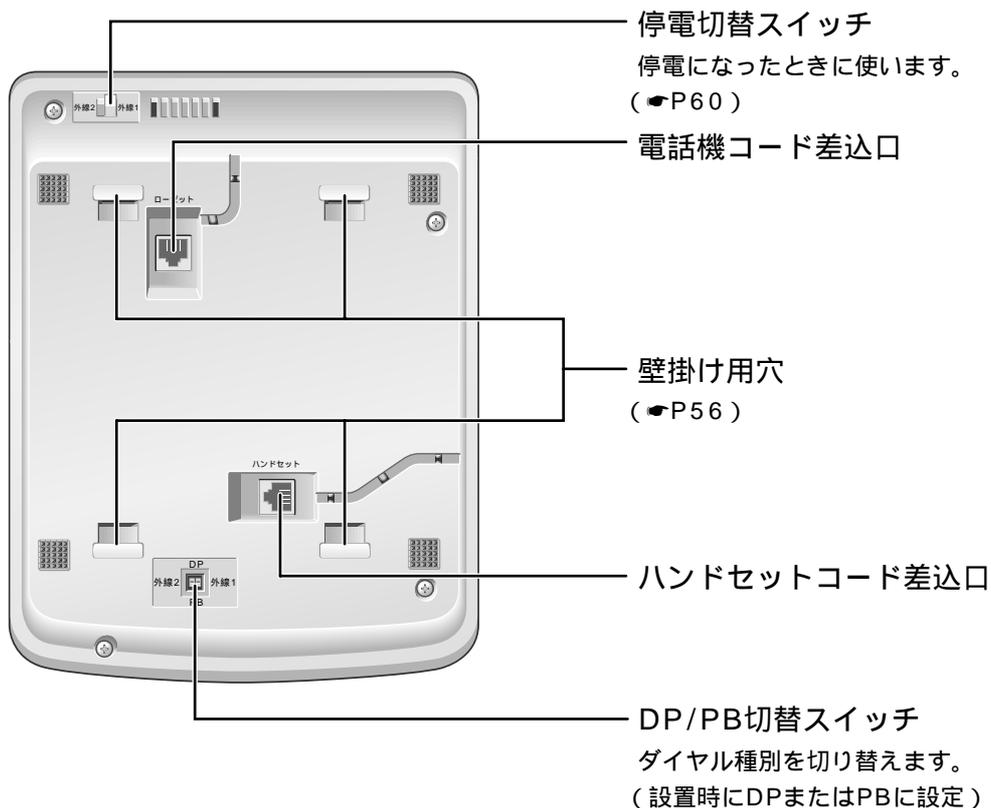
### ワンポイント

詳しくはお使いのレカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書を参照してください。

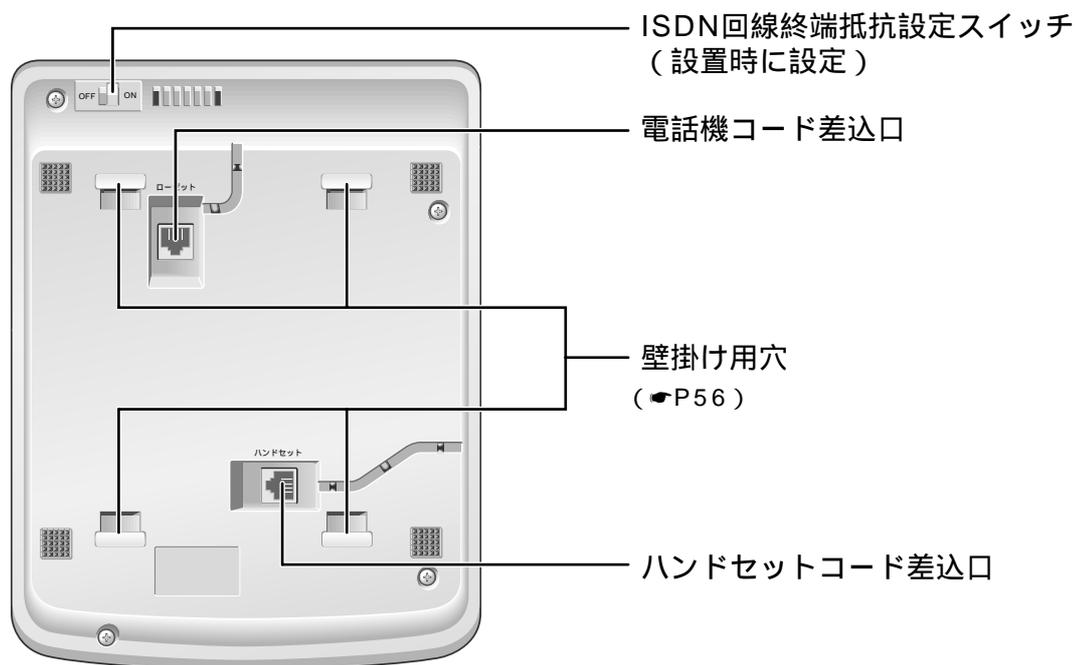
保護用ビニールについて  
出荷時はディスプレイ表面に保護用ビニールが貼ってあります。使用時は、はがしてご利用ください。

## 【底面】

### アナログ回線用



### ISDN回線用



1  
前に  
お使いになる

2  
使う  
留守番電話を

3  
する  
リモコン操作

4  
用件を転送する

5  
より便利に使う

6  
ご参考に

# 各部の名前

## 【ランプ表示】



### ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて右のように表します。



ランプの種類	ランプのつき方 (色)	電話機の状態
外線ランプ	2回消える (緑)	自分の電話機で外の相手の方とお話し中のとき
	2回点灯 (緑)	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	点灯 (赤)	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき / ナンバー・ディスプレイご利用時、相手の方の電話番号情報を受信しているとき
	速い点滅 (赤)	外から電話がかかってきたとき
	速い点滅 (緑)	外の相手の方との保留が長いとき (保留警報中)
	遅い点滅 (赤)	他の内線電話機が外の相手の方とのお話しを保留中のとき
保留・内線ランプ	2回消える (赤)	内線でお話し中のとき / ドアホンとお話し中のとき
	速い点滅 (赤)	内線で呼び出されているとき / ドアホンから呼び出されているとき
留守ランプ	点灯 (赤)	留守がセットされているとき
	遅い点滅 (赤)	留守セット中に用件が録音されているとき
	点灯 (緑)	応答メッセージ1が録音されているとき
応答1ランプ	2回点灯 (緑)	留守設定または自動応答中に応答メッセージ1が再生されているとき
	2回消える (緑)	応答メッセージ1で留守がセットされているとき
	点灯 (緑)	応答メッセージ2または伝言メッセージが録音されているとき
応答2 / 伝言ランプ	2回点灯 (緑)	自動応答中に応答メッセージ2が再生されているとき
	2回消える (緑)	応答メッセージ2で留守がセットされているとき
	点灯 (赤)	ワンタッチボタンで留守操作ができるとき

## 【ディスプレイの見方】



### こんなときに表示されます

文字や数字	カレンダー・時計表示、ダイヤルしている電話番号、かけてきた相手の方の電話番号など(ナンバー・ディスプレイご利用時)、登録または設定の内容など
メッセージ	登録・設定の操作の説明などを表示
ISDN	ISDN回線を利用しているとき
夜間	夜間モードを設定したとき
留守	INSネットのでんわばん / でんわばんWがセットされているとき
伝言	伝言メッセージが録音されているとき
転送	電話やポケットベルへの転送および留守をセットしているとき または、ISDN回線ご利用時、着信転送がセットされているとき
PB	プッシュ(PB)回線を使用しているとき / ダイヤル(DP)回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき(DP PB切替) / ISDN回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき
カナ 英字	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどの名前を登録するときの文字の種類
	デイリーアラームをセットしているとき
	マイクが使える設定のとき
	ハンドセットを取りあげたとき / ハンドセットを取りあげ、受話音量を中レベルまたは大レベルにしたとき
	着信音量を調節できるとき
	スピーカを使用しているとき
	着信音量、スピーカ音量の大きさ
	電気錠がキーロックされているとき

1  
前に  
お使いになる

2  
使う  
留守番電話を

3  
する  
リモコン操作

4  
用件を転送する

5  
より便利に使う

6  
ご参考に

## 【ディスプレイの文字表示例】

外線発信	カ ` イ セ ン    ハ ッ シ ン	  ボタンを押して、外に電話をかけるときに、表示されます。
外線着信	カ ` イ セ ン    チ ャ ク シ ン	外から電話がかかってきたときに表示されます。
外線着信 (ナンバー・ディスプレイご利用時)	カ ` イ セ ン    チ ャ ク シ ン 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8	ナンバー・ディスプレイご利用時に、外から電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などとともに表示されます。 ISDN回線ご利用時、相手の方が発信者番号を通知しているときにも表示されます。
通話中	カ ` イ セ ン    ツ ウ ワ 0 0 : 0 6	外の相手の方とお話し中のときに、通話時間とともに表示されます。
通話終了	ツ ウ ワ    シ ユ ウ リ ョ ウ 0 3 : 2 0	外の相手の方との電話が終わり、ハンドセットを置いたときに、通話時間とともに表示されます。
保留	ホ リ ユ ウ	外の相手の方のお話し中に  ボタンを押したときに表示されます。
内線発信	ナ イ セ ン    ハ ッ シ ン	ハンドセットを取りあげたとき、または  ボタンを押したときに表示されます。
他の内線電話機 が使用中のとき	シ ョ ウ チ ユ ウ T E L 1	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中に   ボタンを押したときに表示されます。
留守セット時	ロ ク オ ン エ リ ア	 ボタンを押したときに、録音可能時間の目安が一時的に表示されます。が多いほど録音可能時間は長くなります。
留守セット中	4 ケ ン P M    3 : 3 0	留守セット中、録音された用件の件数と現在の時刻が表示されます。



### お知らせ

ディスプレイに表示される電話番号は16桁までです。  
17桁目以降は右から左へ順次表示されます。

# 留守番電話として使うには

留守番電話にすると、不在中に電話をかけてきた方に対して不在の旨を伝え（応答メッセージ）、用件を録音していただくことができます。電話機に内蔵されている応答メッセージを利用すれば、すぐに留守番電話として使えます。また、自作の応答メッセージを利用することもできます。

## 外出するとき



### 留守をセットします

留守番電話機の **留守** ボタンを押して、留守をセットします。

留守をセットする

留守番電話をセットする (●P18)

タイマで留守をセットする (●P19)

利用できる応答メッセージ

内蔵メッセージ

応答メッセージを録音しなくてもすぐに留守番電話を利用できます。

内蔵の応答メッセージ

「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音のあとにお話してください。」

内蔵の応答専用メッセージ

「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直してください。」

自作の応答メッセージ

自分の声で応答メッセージを2種類（応答メッセージ1、応答メッセージ2）録音することができます。

応答メッセージを録音する (●P26)

## 不在中



### 用件が録音されます

不在中、自動的に電話がつながり、用件が録音されます。用件録音後、相手の方の連絡先番号を登録してもらうこともできます。また、外出先へ用件を転送することもできます。(●P38) 相手の方は次の手順で用件を録音します。連絡先番号を登録することもできます。

相手の方の用件録音操作

電話をかけます。

自動的に電話がつながり、「ただいま留守にしております。…」などの応答メッセージが聞こえます。

「ピー」という音のあとに用件をお話しします。連絡先電話番号を登録する場合は、用件を話し終わったらブッシュ信号で **\*** を押し、続けて **#**、連絡先番号（最大32桁） **#** を押します。

電話を切ると、録音された曜日と時刻、かかってきた回線（外線1、外線2、内線）が記録されます。（タイムスタンプ）



1  
前に  
お使  
い  
に  
なる

2  
使  
う  
留守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

6  
ご  
参  
考  
に

## 外出先または内線電話機からのリモコン操作



### リモコン操作ができます

外出先または内線電話機から用件を聞くことができます。また、留守にセットするのを忘れて外出したときは、リモコン操作で留守をセットすることができます。

#### リモコン操作

対話形式でリモコン操作する (●P33)

- 留守セット、解除
- 用件再生、消去
- 応答メッセージまたは伝言メッセージの録音、再生
- 転送セット、解除 など

番号でダイレクトリモコン操作する (●P35)

- 留守解除
- 用件再生、消去、戻し、送り
- 応答メッセージまたは伝言メッセージの録音、再生
- 転送セット、解除 など

## 帰宅したら



### 用件を聞きます

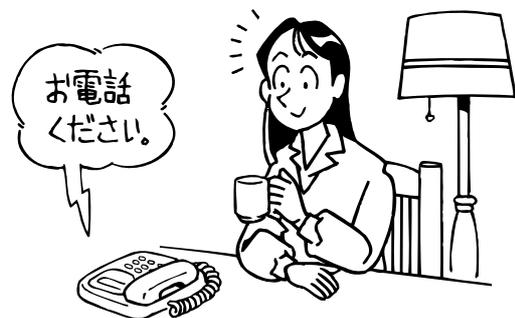
不在中に用件が録音されていると、留守番電話機の留守ランプが点滅し、ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。留守を解除して録音された用件を聞きます。また、留守操作ボタンを使って、保存された用件などを聞き直すこともできます。

#### 留守を解除する

留守番電話を解除する (●P20)

#### 用件を聞き直す

録音された用件を聞く (●P22)



## 留守番電話のその他の機能

### 録音された用件を転送することができます

あらかじめ登録した転送先の電話番号に、録音された用件を転送することができます。(☛P38)

留守暗証番号を登録します。

転送先電話番号を登録します。

留守をセットします。



### ワンポイント

留守番電話を利用すると  
次の機能をご利用になれます。

- 外の相手の方とのお話を録音する(通話中録音)  
(☛P45)
- 録音されている用件を外の相手の方と聞く(通話中再生)  
(☛P46)
- 相手を確認してから電話に出る(居留守応答)  
(☛P47)
- 留守連携機能を使う(☛P48)

# 留守番電話を便利に使うには

留守番電話の機能は、お買い求め時の設定を変えることで、さらに便利な使い方ができます。使い方をよくご理解いただいてから、それぞれの機能を設定してください。

## 留守番電話の便利な使い方

### 1件の用件の録音時間を変更する

#### 用件を録音するとき

電話がかかってくると、留守番電話が自動応答し、用件を録音します。(●P13)

1件あたりの用件録音時間を1~5分の間で設定します。(お買い求め時は1分に設定されています)(●P52)

#### 用件を録音しないとき(応答専用)

「ただいま留守しております。のちほどおかけ直してください。」という応答専用メッセージで応答し、用件を録音しません。

1件あたりの用件録音時間を0分に設定すると、応答専用メッセージで応答できます。(●P52)

### 応答メッセージの使い方

#### 内蔵の応答メッセージを使う

「ただいま留守しております。ご用件をピーという音のあとにお話してください。」という内蔵の応答メッセージで応答します。

留守番電話機にメッセージが内蔵されていますので、留守セットするだけで使えます。(●P18、26)

#### 自作の応答メッセージを使う

自分の声で録音した2種類の応答メッセージを使うことができます(応答メッセージ1、応答メッセージ2を録音します)(●P26)

2種類を使い分ける  
留守セットしたあとにどちらかを選べます。(●P19)

外線1、外線2で使い分ける  
外線別応答メッセージを「アリ」に設定します。(お買い求め時は「ナシ」に設定されています)(●P54)

### 留守番電話が応答するまでの着信音の回数を変える

#### 留守応答着信回数を変える

着信音が鳴ってから留守番電話が応答するまでの着信音の鳴る回数(応答するまでの時間)を変更できます。

留守応答着信回数を0~9回の間(約3~27秒)で設定できます。(お買い求め時は0回(トールセイバ)に設定されています)(●P54)

#### トールセイバとは

留守番電話に電話をかけたとき、留守番電話機が応答するまでの呼出回数(時間)で用件録音の有無がわかる機能です。呼出音が3回以上(約6秒以上)で用件録音なし。録音がある場合は約2回(約6秒)、ない場合は約6回(約18秒)で留守番電話機が応答します。トールセイバは各留守番電話機ごとに設定できます。

留守応答着信回数を、0回(トールセイバ)に設定します。(●P54)

### 留守セットを忘れたときに自動応答させる(在宅自動応答)

#### 留守セットしていないときに自動応答する

留守セットをしていないときでも、着信音が約17回鳴ったあと、留守番電話が自動応答し、「ただいま留守しております。のちほどおかけ直してください。」という応答専用メッセージが流れ、リモコン操作できるように設定することができます。

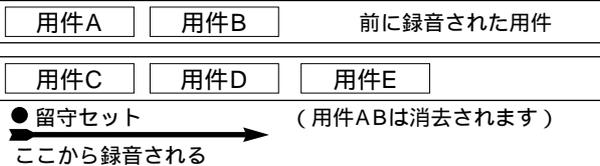
在宅自動応答を「アリ」に設定します(お買い求め時は「アリ」に設定されています)(●P54)

## 前の用件を消去しないで留守セットする (アキュムレート録音)

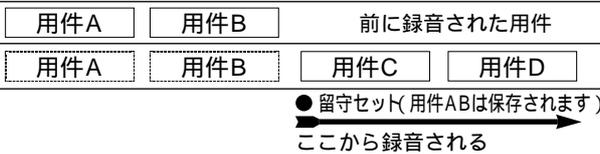
### アキュムレート録音とは

一度留守を解除して聞いた用件を消さずに、留守をセットできる機能です。

<通常の留守セット>



<アキュムレート録音で留守セット>



アキュムレート録音を「アリ」に設定します。(お買い求め時は「ナシ」に設定されています)(●P54)

## 留守番電話のいろいろな使い方

### 伝言メッセージを使う

ご家族間や親しい方との間で、伝言を伝え合うことができます。(●P28、52)

伝言メッセージ選択を「アリ」に設定します。(応答2 / 伝言ボタンを伝言メッセージに設定します)(●P52)  
伝言メッセージを録音します。(●P28、52)

### お知らせ

録音されている応答メッセージまたは伝言メッセージは、伝言メッセージ選択の設定を変更すると消去されます。

## タイマで自動的に留守セットする (タイマ留守設定)

### タイマ留守設定とは

タイマで自動的に留守をセットします。指定した曜日、時刻になると、自動的に留守がセットされます。

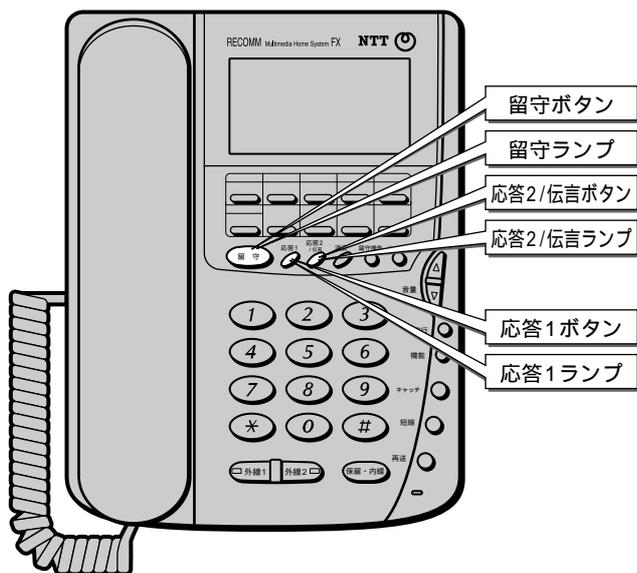
タイマ留守設定曜日、時刻を設定します。(お買い求め時は設定されていません)(●P54)

### お知らせ

タイマ留守設定時刻にすでに留守がセットされているときは、そのまま留守が継続します。  
タイマ留守設定で設定した時刻になったときは、応答メッセージは流れずに留守にセットされます。  
停電中に設定した曜日、時刻になった場合、停電が復旧しても留守はセットされません。

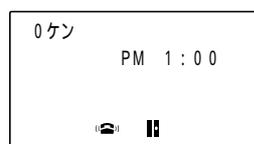
# 留守番電話をセットするには

留守番電話は  ボタンを押すだけで、留守をセットすることができます。



## 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押します。

応答メッセージがスピーカから聞こえ、留守がセットされます。



## お知らせ

用件は、1つの留守番電話機で最大で約15分（通話中録音、応答メッセージ録音を含みます。最大録音時間は、録音内容で変わります。）、または59件まで録音できます。

1秒以内の用件は録音されません。

アキュムレート録音（●P54）が「ナシ」に設定されているときは、留守がセットされると、録音されている用件がすべて消去されます。

留守を解除したあと、用件がすべて再生される前に留守にセットしたときは、未再生用件があっても再生したものとみなされ、ディスプレイに「0ケン」と表示されます。

留守中に録音エリアが満杯になると、電話をかけてきた方には「ただいま留守にしております。のちほどおかけ直してください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音できなくなります。

録音エリアが満杯のときに留守をセットすると、ディスプレイに「ロクオンエリア マンパイ」と表示され、応答専用メッセージで留守にセットされます。外線または内線の着信表示中は、留守をセットできません。



## ワンポイント

応答メッセージは

応答メッセージ1が録音されているときは、そのメッセージが流れます。録音されていないときは、内蔵の応答メッセージが流れます。応答専用のときは、自作の応答メッセージが録音されているいにかかわらず、内蔵の応答専用メッセージが流れます。自作の応答メッセージを使うことはできません。(●P27)

応答専用にするには

用件録音時間を「0分」に設定して、留守をセットします。(●P52)

自作の応答メッセージが録音されているときに<sup>留守</sup>ボタンを押したときは

< 応答1ボタンだけに録音されているとき >

<sup>留守</sup>ボタンを押すと、応答メッセージ1が流れます。応答1ランプが2回点滅し、応答メッセージ1で留守にセットされます。

< 応答2ボタンだけに録音されているとき >

<sup>留守</sup>ボタンを押すと、内蔵の応答メッセージが流れ、内蔵の応答メッセージで留守にセットされます。

応答メッセージ2で留守セットするには

留守をセットし、応答メッセージを再生したあと、応答2 / 伝言ボタンを押して応答メッセージ2を再生します。応答メッセージ2で留守セットされます。再度、応答メッセージ1に戻りたいときは、応答1ボタンを押して応答メッセージ1を再生します。ただし、伝言メッセージ選択(●P52)が「アリ」に設定されているときは、応答メッセージ2で留守にセットすることはできません。

録音可能時間を確認するには

<sup>留守</sup>ボタンを押して留守にセットすると、ディスプレイに録音可能時間が表示されます。録音可能時間の表示は目安です。実際の録音可能時間と異なる場合もありますので、目安としてお使いください。(●P27)

外線1、外線2でそれぞれ別の応答メッセージにするには(外線別応答メッセージ)

外線別応答メッセージを「アリ」に設定します(●P54)。設定すると以下の表のようになります。

応答メッセージ1は外線1で、応答メッセージ2は外線2で応答します。それぞれに応答メッセージを録音してください。なお、自作の応答メッセージが応答2 / 伝言ボタンだけに録音されているときは、自作の応答メッセージは外線2に、内蔵の応答メッセージは外線1で応答します。

	応答1ボタン	応答2/伝言ボタン	流れるメッセージ	
			外線1	外線2
自作の応答メッセージ録音	なし	なし	内蔵	内蔵
	なし	あり	内蔵	自作
	あり	なし	自作	内蔵
	あり	あり	自作	自作

内線の応答メッセージは

外線1の応答メッセージと同じです。

<sup>留守</sup>ボタンを押して留守をセットしたときは

応答回線種別に設定されている回線(外線1、外線2、ダイヤルイン着信、内線)に自動応答できます。(●P54)

留守番電話をセットしていないときは(在宅自動応答)

留守が解除されているときでも、呼出音が約17回鳴ると応答専用メッセージが再生され、留守をセットできるように設定することができます。(●P54)

タイマを使って自動的に留守をセットするには(タイマ留守)

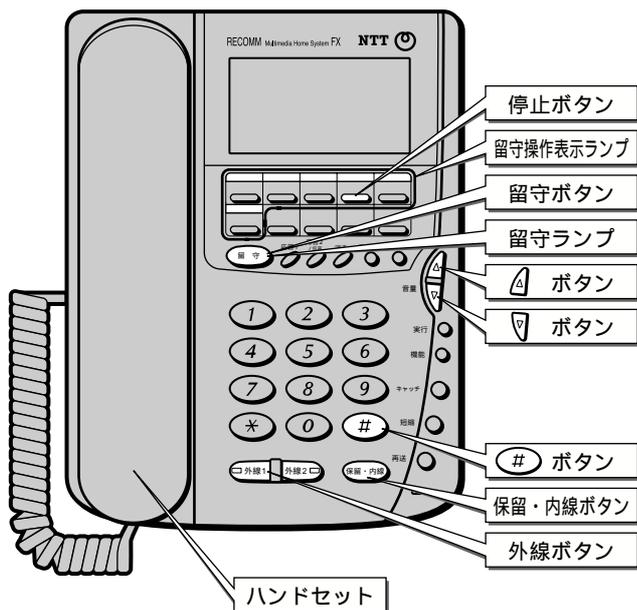
設定した曜日、時刻になると自動的に留守にセットされるよう設定することができます。(●P54)

留守連携機能が設定されているときは

システム設定により、留守連携機能が設定されている留守番電話機のうち1台でも留守をセットすると、すべての留守連携機能が設定されている留守番電話機の留守がセットされるよう設定することができます。(●P48)

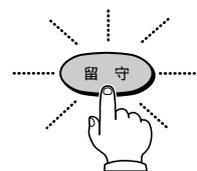
# 留守番電話を解除するには

用件が録音されると、留守番電話機の留守ランプが点滅します。ディスプレイには、録音された用件の件数が表示されます。留守番電話機の **留守** ボタンを押すと留守が解除され、用件が再生されます。



## 1 ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押します。

留守ランプが消え、留守が解除されます。用件が録音されているときは、録音件数「...件です。」という音声のあと、各用件ごとに、用件とタイムスタンプが再生されます。



用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声流れます。

## 2 留守操作表示ランプが点灯し、留守操作モードになります。(P22)



再生終了後、約30秒たつと留守操作モードが解除され、カレンダー・時計表示に戻ります。



### お知らせ

留守を解除して用件を再生したときは、その留守中に録音された、未再生の用件のみ再生され、ディスプレイにはその未再生用件のみの件数が表示されます。アキュムレート録音 (P54) された用件は再生されず、ディスプレイの表示件数にも含まれません。  
外線または内線の着信表示中は、留守を解除できません。



## ワンポイント

 ボタンを押して留守を解除したときは手順2で、カレンダー・時計表示に戻るまでは、留守操作ボタンを押したときと同じ操作ができます。

タイムスタンプについて  
録音件数を再生したあと、各用件ごとに、用件が録音された曜日・時刻と、「外線1」、「外線2」、「内線」のどれで録音された用件かをお知らせします。

用件をハンドセットから再生するには  
用件再生中にハンドセットを取りあげます。

スピーカ音量を変えるには  
ハンドセットを置いたまま再生中に  ボタンを押すとスピーカ音量を大きくすることができます。小さくするときは  ボタンを押します。

用件の再生を停止するには  
手順1で用件再生中に停止ボタンまたは  を押します。ハンドセットから用件が再生されているときは、ハンドセットを置きます。

用件再生中に外線から電話がかかってきたときはディスプレイには「ガイセン チャクシン」と表示されますが、着信音は鳴りません。応答するには   ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから、  ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。また、応答すると再生中の用件は停止します。

用件再生中に内線から電話がかかってきたときはディスプレイには内線の相手番号が表示されますが、着信音は鳴りません。応答するには  ボタンを押したあとハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから、 ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。また、応答すると再生中の用件は停止します。

留守連携機能が設定されているときは  
システム設定により、留守連携機能が設定されている留守番電話機のうち1台でも留守を解除すると、すべての留守連携機能が設定されている留守番電話機の留守が解除されるよう設定することができます。(●P48)

ディスプレイに電話番号が表示されているときは  
電話をかけてきた方が発信電話番号を通知しているか、連絡先番号を登録したときは、手順2でディスプレイに電話番号が表示されます。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

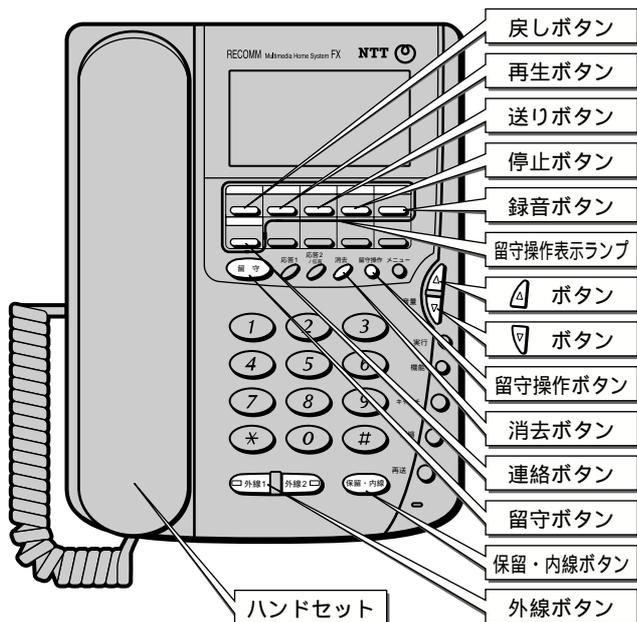
4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

6  
ご  
参  
考  
に

# 録音された用件を聞くには

留守番電話機の留守操作ボタンを押すと留守操作モードに切り替わり、留守操作表示ランプが点灯して、用件の再生、戻し、送りなどの操作をすることができます。また、留守ランプが点滅しているときに **留守** ボタンを押しても用件を聞くことができます。(●P20)



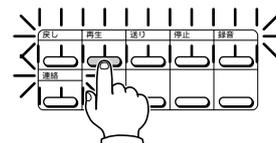
## 1 ハンドセットを置いたまま、留守操作ボタンを押します。

留守操作表示ランプが点灯し、留守操作モードに切り替わります。



## 2 再生ボタンを押します。

録音されている用件すべてが再生されます。



用件が録音されていないときは、「録音はありません。」という音声流れます。

再生を途中で止める場合は、停止ボタンを押します。

### お知らせ

録音された用件は、留守セット中、解除中のどちらでも再生できます。

再生ボタンを押して用件を再生したときは、保存された用件からすべて再生され、ディスプレイには保存された用件を含めた件数が表示されます。

用件が再生されていない状態で約30秒間何も操作しないと、留守操作表示ランプが消え、留守操作ができなくなります。このときは、手順1から操作し直してください。

相手の方が約10秒何も話さなかったり、声が小さすぎたときは、電話が切れます。このときも用件の1件として数えられることがあります。また、相手の方が応答メッセージの途中で電話を切ったときも、用件の1件として数えられることがあります。停電になったとき、または主装置の電源スイッチをオフにしたときでも録音された用件は消えません。お使いの回線により、録音された用件の音質が異なる場合があります。

## 3 留守操作ボタンを押します。

留守操作表示ランプが消灯し、留守操作が終了します。





## ワンポイント

留守操作ボタンを押したときのワンタッチボタンの機能は留守操作モードのとき、各ワンタッチボタンの左上に表示された機能を使うことができます。

左上に何も表示されていないワンタッチボタンは使えません。

表示	機能
戻し	<p>用件再生中に押すと、用件を聞き直すことができます。</p> <p>&lt; 用件が1件目のとき &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1件目の最初に戻る。</li> </ul> <p>&lt; 用件が2件目以降のとき &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 用件再生開始後、3秒以内に押したとき：1つ前の用件の最初に戻る。</li> <li>• 用件再生開始後、3秒以降に押したとき：その用件の最初に戻る。</li> </ul>
再生	録音された用件が1件目から再生される。
送り	<p>用件再生中に押すと、次の用件が再生される。最後の用件再生中に押したときは、再生が停止される。</p> <p>また、送りボタンでスキップした用件は、すべて再生したものとみなされる。</p>
停止	用件再生中に押すと、再生が停止される。
録音	通話中に押すと、お話を録音できる。(●P45)
連絡	用件再生中に押すと、その用件に電話番号が登録されているときのみ、その電話番号に発信できる。(連絡先発信)(●P24)

用件をハンドセットから再生するには用件再生中にハンドセットを取りあげます。

停止ボタンを押さずに用件の再生を停止するには手順2で用件再生中に(●)を押します。ハンドセットから用件が再生されているときは、ハンドセットを置きます。このとき、留守操作モードは解除されません。

### タイムスタンプについて

録音件数を再生したあと、各用件ごとに、用件が録音された曜日・時刻と、「外線1」、「外線2」、「内線」のいずれかで録音された用件かをお知らせします。

用件を消去するには消去する用件の再生中に消去ボタンを押します。次の用件があるときは、続けて再生されます。

用件をすべて消去するには(用件録音全消去)待機状態で、消去ボタンを押しながら留守ボタンを押します。保存されている用件も消去されます。また、メニューからも用件をすべて消去できます。(●P52)

用件を保存するには(アキュムレート録音)アキュムレート録音を「アリ」に設定します(●P54)。録音された用件はすべて保存されます。用件は、59件または約15分保存できます。

用件再生中に外線から電話がかかってきたときはディスプレイには「ガイセン チャクシン」と表示されますが、着信音は鳴りません。応答するには(外線1) (外線2) ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから、(外線1) (外線2) ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。また、応答すると再生中の用件は停止します。

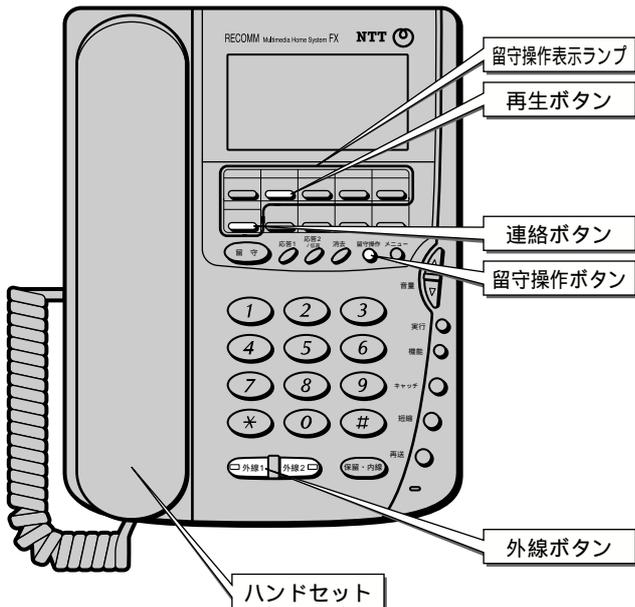
用件再生中に内線から電話がかかってきたときはディスプレイには内線の相手番号が表示されますが、着信音は鳴りません。応答するには(保留・内線) ボタンを押したあとハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから、(保留・内線) ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。また、応答すると再生中の用件は停止します。

スピーカ音量、ハンドセット受話音量を変えるにはスピーカ音量を変えるには、ハンドセットを置いたまま再生中に(Δ) ボタンを押すとスピーカ音量を大きくすることができます。小さくするときは(▽) ボタンを押します。ハンドセット受話音量を変えるには、ハンドセットを取りあげて再生中に(Δ) ボタンを押すと受話音量を大きくすることができます。小さくするときは(▽) ボタンを押します。

ディスプレイに電話番号が表示されているときは電話をかけてきた方が発信電話番号を通知しているか、用件に連絡先番号を登録したときは、手順2でディスプレイに電話番号が表示されます。用件再生中に連絡ボタン、(外線1) (外線2) ボタンの順に押すと、その電話番号へ発信できます。(●P24)

# 表示されている連絡先に電話をかけるには (連絡先発信)

電話をかけてきた方が発信電話番号を通知しているか、用件に連絡先番号を登録(●P13)したときは、ディスプレイに連絡先番号が表示されます。連絡ボタンを押すと、連絡先番号に電話をかけることができます。



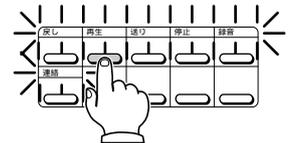
## 1 ハンドセットを置いたまま、留守操作ボタンを押します。

留守操作表示ランプが点灯し、留守操作モードに切り替わります。



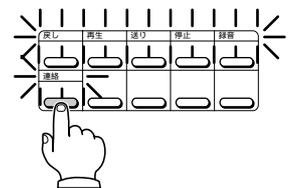
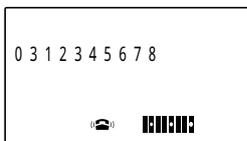
## 2 再生ボタンを押します。

録音されている用件すべてが再生されます。用件に連絡先番号が登録されているときは、ディスプレイに連絡先番号が表示されます。



## 3 連絡先が登録されている用件の再生中に、連絡ボタンを押します。

用件メッセージの再生が止まります。



## 4 外線1 外線2 ボタンを押します。

表示されている連絡先番号がダイヤルされます。



1  
前に  
お使用になる

2  
使う  
留守番電話を

3  
する  
リモコン操作

4  
用件を転送する

5  
より便利に使う

6  
ご参考に

**5** 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しください。

通話時間が表示されます。

カ イセン ツウワ  
00:06



**6** お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



### ワンポイント

PBX（構内交換機）やCES（事業所集団電話）の内線に接続されているときは

手順3で、外線発信番号を押してから連絡ボタンを押します。

連絡先発信をやり直すには

手順3でキャッチボタンを押します。

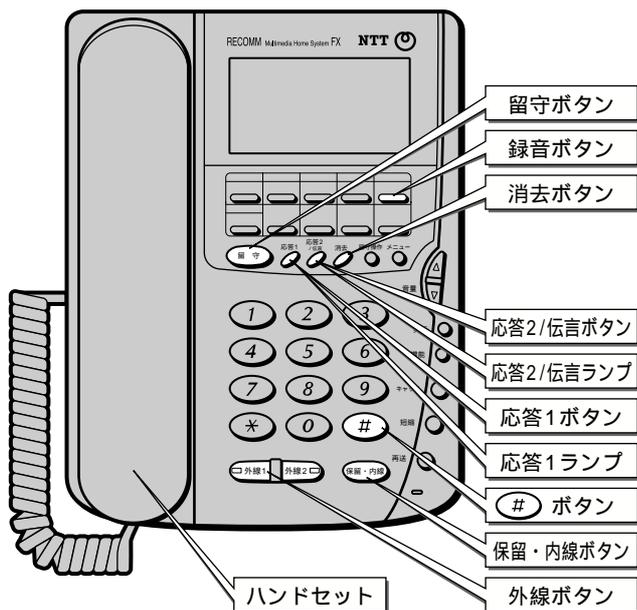


### お知らせ

連絡先番号が登録されていないときは「デンワバンゴウ ミトウロク」と表示され、連絡先発信は行えません。

# 応答メッセージを録音するには

自分の声で録音した応答メッセージを利用することができます。応答1ボタン、応答2 / 伝言ボタンそれぞれに、約15秒ずつ応答メッセージを録音することができます。また、ランプが点灯している応答1ボタンまたは応答2 / 伝言ボタンを押すと、応答メッセージを再生できます。



## 1 ハンドセットを置いたまま、応答1ボタンまたは応答2 / 伝言ボタンを押します。

「録音します。ハンドセットを取り、ピーという音のあとにお話してください。」という音声流れます。

アウトウ1 ロクオン



## 2 ハンドセットを取りあげます。

「ピー」という発信音のあとに応答メッセージを録音します。

アウトウ1 ロクオン



### お知らせ

録音時間を超えたときは「ピー」という発信音が鳴り、録音が終了します。ハンドセットを置いてください。

応答1ランプまたは応答2 / 伝言ランプが点灯しているときは、すでに応答メッセージが録音されています。ランプが点灯しているボタンに応答メッセージは録音できません。録音する場合は、ランプが点灯しているボタンの応答メッセージを消去してください。

録音可能時間(約15分)は、用件、応答メッセージ、伝言メッセージ、通話中録音すべてを含めた録音時間です。残りの録音時間がないときは操作しても応答メッセージを録音できません。

録音可能時間の表示は目安です。実際の録音可能時間と異なる場合もありますので、目安としてお使いください。手順1で音声が続いているあいだにハンドセットを取りあげたときは、音声はハンドセットから聞こえます。

手順1で音声が続いたあとで約10秒間何も操作しないと、「ピー」という発信音が鳴り、応答メッセージの録音が中止されます。もう一度はじめてからやり直してください。

## 3 録音が終わったら、ハンドセットを置きます。または#を押してからハンドセットを置きます。

#を押したときは「ピー」という音がスピーカから聞こえます。





## ワンポイント

録音可能時間を確認するには

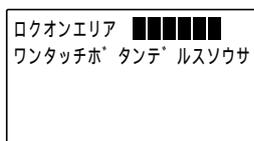
**留守** ボタンを押すと、応答メッセージが流れているあいだ、ディスプレイに残りの録音可能時間が表示されます。

< 残りの録音可能時間があるとき >

- ・ **留守** ボタンを押したとき



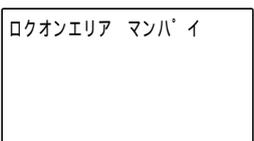
- ・ 通話中に留守操作ボタンを押したとき (●P45)



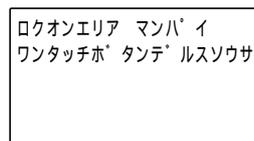
残り録音可能時間は8段階でディスプレイに表示されます。残り時間は録音内容によって変わりますので、目安としてお使いください。

< 残りの録音可能時間がないとき >

- ・ **留守** ボタンを押したとき



- ・ 通話中に留守操作ボタンを押したとき (●P45)



応答メッセージを再生するには

ランプが点灯している応答1ボタンまたは応答2 / 伝言ボタンを押す

「再生します。」という音声のあと、応答メッセージが再生される。ハンドセットから再生するときには、ハンドセットを取りあげる

再生を終了するときには **#** を押す。ハンドセットを取りあげたときはハンドセットを置く

応答メッセージの録音中または再生中に外線から電話がかかってきたときは

外線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。応答するには **外線1** / **外線2** ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから、**外線1** / **外線2** ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。また、応答すると録音または再生中の応答メッセージは停止します。

応答メッセージの録音中または再生中に内線から電話がかかってきたときは

保留・内線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。応答するには **保留・内線** ボタンを押したあとハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから、**保留・内線** ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。また、応答すると録音または再生中の応答メッセージは停止します。

外線1、外線2でそれぞれ別の応答メッセージにするには (外線別応答メッセージ)

外線別応答メッセージを「アリ」に設定します (●P54)。設定すると以下の表のようになります。

応答メッセージ1は外線1で、応答メッセージ2は外線2で応答します。それぞれに応答メッセージを録音してください。なお、自作の応答メッセージが応答2 / 伝言ボタンだけに録音されているときは、自作の応答メッセージは外線2に、内蔵の応答メッセージは外線1で応答します。

	応答1ボタン	応答2 / 伝言ボタン	流れるメッセージ	
			外線1	外線2
自作の応答メッセージ録音	なし	なし	内蔵	内蔵
	なし	あり	内蔵	自作
	あり	なし	自作	内蔵
	あり	あり	自作	自作

内線の応答メッセージは

外線1の応答メッセージと同じです。

応答メッセージを録音し直すには

新しく応答メッセージを録音するには、応答メッセージを消去し、再度録音し直してください。

応答メッセージを消去するには

ハンドセットを置いたまま、消去ボタンを押しながら応答1ボタンまたは応答2 / 伝言ボタンを押します。押した応答ボタンに登録されている応答メッセージが消去されます。



### お知らせ

用件が59件または最大録音時間まで録音されているときは、応答メッセージが録音されていても、「ただいま留守しております。のちほどおかけ直してください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音されません。

停電になったとき、または主装置の電源スイッチをオフにしたときでも録音された応答メッセージは消えません。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

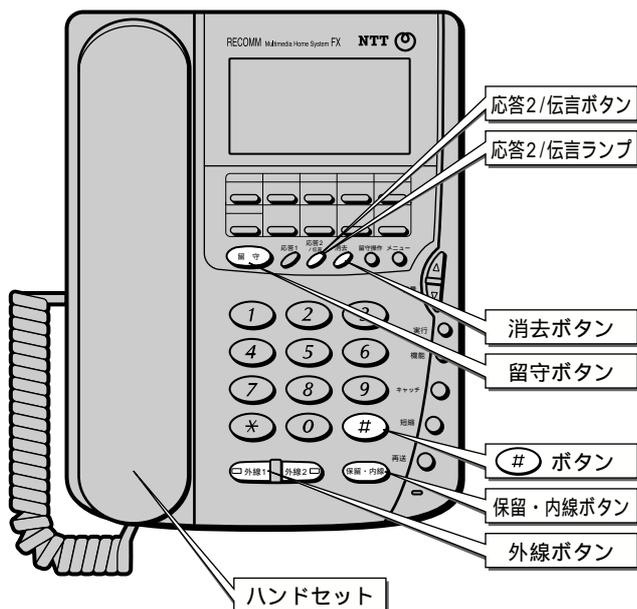
4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

6  
ご  
参  
考  
に

# 伝言メッセージを録音 / 再生するには

留守番電話機に伝言メッセージを録音し、他の相手の方が直接、応答2 / 伝言ボタンを押して聞くことで、伝言することができます。録音時間は約15秒です。伝言メッセージが録音されているときは、ディスプレイに「伝言」と表示されます。伝言メッセージを録音するには、あらかじめ伝言メッセージ選択（●P52）を「アリ」に設定してください。



## 伝言メッセージを録音する

### 1 ハンドセットを置いたまま、応答2 / 伝言ボタンを押します。

「録音します。ハンドセットを取り、ピーという音のあとにお話してください。」という音声の流れます。



### 2 ハンドセットを取りあげます。

「ピー」という発信音のあとに伝言メッセージを録音します。



### 3 録音が終わったら、ハンドセットを置きます。または # を押してからハンドセットを置きます。

# を押したときは「ピー」という音がスピーカから聞こえます。ディスプレイには「伝言」と表示されません。



## ワンポイント

伝言メッセージの録音中または再生中に外線から電話がかかってきたときは  
外線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。応答するには **外線1** / **外線2** ボタンを押したあと、ハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから、**外線1** / **外線2** ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。また、応答すると録音または再生中の伝言メッセージは停止します。

伝言メッセージの録音中または再生中に内線から電話がかかってきたときは  
保留・内線ランプが点滅しますが、着信音は鳴りません。応答するには **保留・内線** ボタンを押したあとハンドセットを取りあげてください。ハンドセットを取りあげているときは、いったんハンドセットを置いてから、**保留・内線** ボタンを押して、ハンドセットを取りあげてください。また、応答すると録音または再生中の伝言メッセージは停止します。

録音可能時間を確認するには  
**留守** ボタンを押して留守にセットすると、ディスプレイに録音可能時間が表示されます。録音可能時間の表示は目安です。実際の録音可能時間と異なる場合もありますので、目安としてお使いください。（●P12）

## 伝言メッセージを再生する

### 1 ハンドセットを置いたまま、応答2 / 伝言ボタンを押します。

「再生します」という音声のあと、伝言メッセージが再生されます。



### ワンポイント

伝言メッセージをハンドセットから再生するには伝言メッセージ再生中にハンドセットを取りあげます。伝言メッセージを消去するにはハンドセットを置いたまま、消去ボタンを押しながら応答2 / 伝言ボタンを押します。



### お知らせ

録音時間を超えたときは「ピー」という発信音が鳴り、録音が終了します。ハンドセットを置いてください。

応答2 / 伝言ランプが点灯しているときは、すでに伝言メッセージまたは応答メッセージ2が録音されています。伝言メッセージは録音できません。録音する場合は、いったん伝言メッセージまたは応答メッセージ2を消去してから行ってください。

用件が最大録音時間まで録音されているときは、操作しても伝言メッセージを録音できません。

手順1で音声が続いている間にハンドセットを取りあげたときは、音声はハンドセットから聞こえます。「伝言メッセージを録音する」の手順1で音声が続いたあとから約10秒間何も操作しないと、「ピー」という発信音が鳴り、録音が中止されます。

伝言メッセージ選択 (●P 52) が「アリ」に設定されているときは、応答メッセージ2で留守セットすることはできません。

伝言メッセージ選択 (●P 52) で設定を変更すると、すでに録音されている応答2 / 伝言メッセージは消去されます。

停電になったとき、または主装置の電源スイッチをオフにしたときでも録音された伝言メッセージは消えません。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

6  
ご  
参  
考  
に

## リモコン操作でできること

リモコン操作とは、外出先などからレカム・マルチメディアホームシステムFXに電話をかけて、ダイヤルボタンで用件を聞くなどの操作をすることです。リモコン操作するためには、あらかじめ留守暗証番号の登録が必要です。また、留守セットされているか、在宅自動応答(●P54)が「アリ」に設定されていることも必要です。

### 留守暗証番号を登録します

留守番電話機から留守暗証番号を登録します。  
(●P32)

### 留守をセットします

外出したり不在にするときは、留守をセットします。  
留守番電話をセットする(●P18)  
タイマで留守にセットする(●P19)

### 外出先から電話をかけます

プッシュ信号を送ることができる外の電話機から、レカム・マルチメディアホームシステムFXに電話をかけます。他の内線電話機からの場合には、留守番電話機を内線番号で呼び出します。応答メッセージが聞こえたらⓂ、留守暗証番号、Ⓜをダイヤルボタンで押します。



### 録音された用件を聞きます

曜日、時刻、かかってきた回線種別(外線1、外線2、内線)、録音された用件の件数に続いて、用件が聞こえます。続いて「対話形式でリモコンを行う場合は#、1、#を、直接リモコンを行う場合は#、4、#を、リモコンを終了する場合は#、0、#をどうぞ。」という音声聞こえます。

#### STOP お願い

他の内線電話機からリモコン操作する場合には、留守番電話機を「トーン呼出」で呼び出してください。「トーン呼出」については、レカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書を参照してください。

音声がかかっているあいだにⓂを押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに(目安として約2~3秒)押してください。(電話機によってはできない場合があります。)

携帯電話などで音声がかかっているあいだにリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声終了してから操作してください。

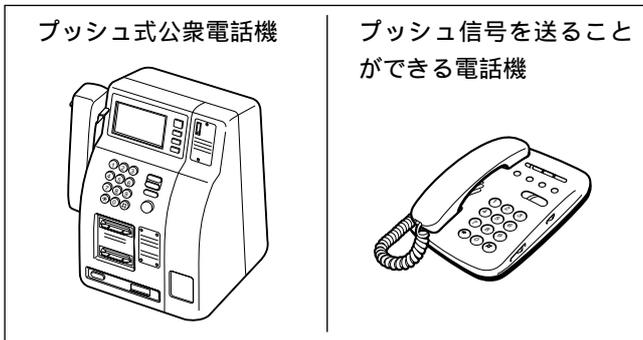
対話形式でリモコン操作できます  
(●P33)

番号で直接リモコン操作できます  
(ダイレクトリモコン)(●P35)



## ワンポイント

リモコン操作のできる電話機は  
外からのリモコン操作には、必ずプッシュ信号を送ることができる電話機またはプッシュホンをご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があればリモコン操作ができます。



リモコン操作で留守セットするには  
留守にセットするのを忘れたとき、在宅自動応答が「アリ」に設定されていると(●P54)、リモコン操作で留守をセットすることができます。

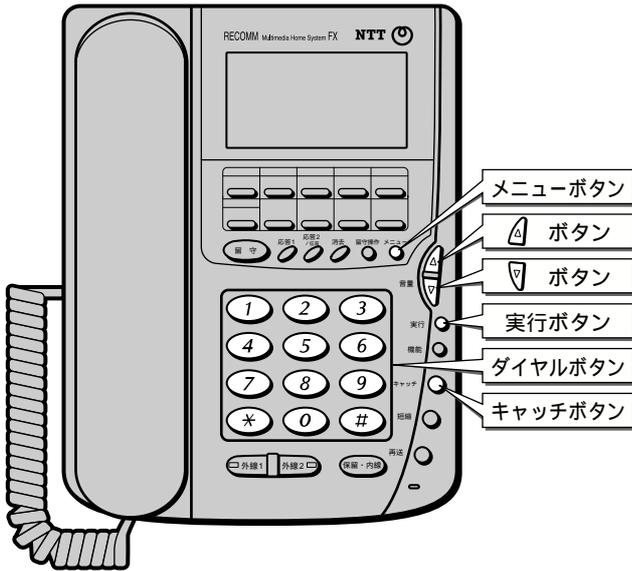
- レカム・マルチメディアホームシステムFXに電話をかける
- 呼出音が約17回鳴ったあと、応答専用メッセージが聞こえる
- 応答専用メッセージが聞こえているあいだにⓂ、留守暗証番号、Ⓜを押す
- タイムスタンプ、応答メッセージが聞こえたあと、「留守設定にしました。」という音声聞こえる

### リモコン操作のできる機能一覧

機能	内容
用件の再生、消去	録音された用件を再生、消去できます
応答メッセージの録音、再生、消去	応答メッセージを録音、再生、消去できます
伝言メッセージの録音、再生、消去	伝言メッセージを録音、再生消去できます
留守セット、解除	留守をセット、解除できます
転送セット、解除	転送をセット、解除できます
転送先電話番号の登録	転送先の電話番号を登録できます

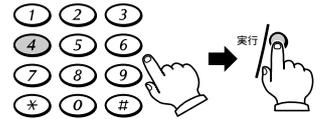
# 留守暗証番号を登録するには

リモコン操作を行うための留守暗証番号（3～6桁の数字）を登録します。留守暗証番号を登録できるのは留守番電話機からのみです。



**1** メニューボタン、④を押して「4：ルスバン キノウ トウロク」を表示させ、実行ボタンを押します。

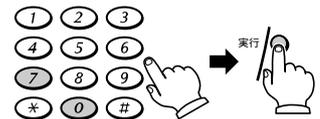
メニュー  
4：ルスバ`ン キノウ トウロク  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



④のかわりに A ボタンまたは V ボタンを押しても表示できます。

**2** ⑦④を押して「07：アンショウバンゴウ」を表示させ、実行ボタンを押します。

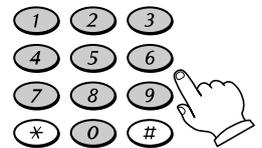
ルスバ`ン キノウ トウロク  
07：アンショウ バ`ンゴ`ウ  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



⑦④のかわりに A ボタンまたは V ボタンを押しても表示できます。

**3** 留守暗証番号（3～6桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

アンショウ バ`ンゴ`ウ  
1 2 3 4 5 6  
数字で入力して実行で決定してください



## ワンポイント

留守暗証番号を変更するには  
手順1から新しい留守暗証番号を登録します。もとの番号は消え、新しく登録した番号が留守暗証番号になります。

## お知らせ

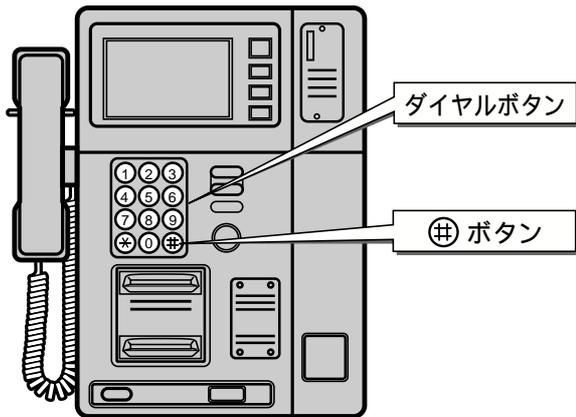
留守暗証番号には#、\*は登録できません。  
現在登録されている留守暗証番号を確認することはできません。また、留守暗証番号が登録されていないときはリモコン操作できません。  
手順3でキャッチボタンを押して留守暗証番号をクリアすることもできます。

**4** 登録内容を確認し、実行ボタンを押します。

メニューボタンを押すと、カレンダー・時計表示に戻ります。

# 外出先または他の内線電話機から用件を聞くには

外出先から留守暗証番号を使って、外出中などに録音された用件を聞きます。続けて、用件を消したり、応答メッセージを録音するなどのリモコン操作ができます。リモコン操作は他の内線電話機からでもできます。



## STOP お願い

他の内線電話機からリモコン操作する場合には、留守番電話機を「トーン呼出」で呼び出してください。「トーン呼出」については、レカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書を参照してください。

音声がかかっているあいだにⓂを押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに（目安として約2～3秒）押してください。（電話機によってはできない場合があります。）

携帯電話などで音声がかかっているあいだにリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終わってから操作してください。

## お知らせ

音声がかかえてから約6秒間何も操作しないと、再度同じ音声がかかります。さらに約6秒間何も操作しないと、次の音声がかかります。ただし、「リモコンを終了しますか。」という音声がかかえてから約6秒たつと、自動的に電話が切れます。

対話形式またはダイレクトリモコンで用件を再生する場合は、アキュムレート録音（P54）の設定内容に関わらず、保存されている用件メッセージがすべて再生されます。

## 対話形式でリモコン操作する

### 1 レカム・マルチメディアホームシステムFXに電話をかけます。

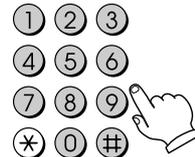
電話がつながると、留守番電話の応答メッセージが聞こえます。



他の内線電話機からの場合には、留守番電話機を内線番号で呼び出します。

### 2 応答メッセージが聞こえたら、Ⓜ、留守暗証番号、Ⓜを押します。

曜日・時刻、回線種別、録音件数「・・・件です。」という音声のあと、用件が再生されます。



用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声のあと、メニューガイダンスが聞こえます。

### 3 メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえます。

### 4 Ⓜ①Ⓜを押します。

対話形式でのリモコン操作に設定されます。

### 5 聞こえてくる音声にしたがって、留守番電話をリモコン操作します。



はい（実行するとき）：Ⓜ①Ⓜ

いいえ（スキップ）：Ⓜ③Ⓜ

### 6 リモコン操作を終了するときには、Ⓜ①Ⓜを押して電話を切ります。

1 前に  
お使いになる

2 使う  
留守番電話を

3 する  
リモコン操作

4 用件を  
転送する

5 より便利に  
使う

6 ご参考  
に



## ワンポイント

対話形式で聞こえる音声の内容は  
手順5で聞こえる音声は、次の順序で聞こえます。

「実行なら#、1、#を、スキップなら#、3、#をどうぞ。」  
 「用件メッセージを消去しますか。」  
 「用件メッセージを再生しますか。」  
 「応答メッセージ1を再生しますか。」  
 「応答メッセージ1を変更しますか。」  
 「応答メッセージ1を録音しますか。」  
 「応答メッセージ2を再生しますか。」  
 「応答メッセージ2を変更しますか。」  
 「応答メッセージ2を録音しますか。」  
 「伝言を再生しますか。」  
 「伝言を変更しますか。」  
 「伝言を録音しますか。」  
 「留守設定を解除しますか。」  
 「留守設定にしますか。」  
 「転送を解除しますか。」  
 「転送にしますか。」  
 「転送先電話番号を設定しますか。」  
 「リモコンを終了しますか。」

- で $\text{Ⓜ}$   $\text{③}$   $\text{Ⓜ}$ を押すと、へスキップします。
- 、 、 、 は応答メッセージが録音されているときのみ聞こえます。
- 、 は応答メッセージが録音されていないときのみ聞こえます。
- 、 、 は伝言メッセージ選択(●P52)が「アリ」に設定されているときのみ聞こえます。

対話式リモコン操作中に、メニューガイダンスに戻るには  
手順5で $\text{Ⓜ}$   $\text{⑨}$   $\text{Ⓜ}$ を押します。

対話式リモコン操作中に、ダイレクトリモコン操作に変更するには  
手順5で $\text{Ⓜ}$   $\text{⑨}$   $\text{Ⓜ}$ を押してメニューガイダンスに戻り、 $\text{Ⓜ}$   $\text{④}$   $\text{Ⓜ}$ を押します。ダイレクトリモコン操作できるようになります。(●P35)

留守をセットしていないときは(在宅自動応答)  
留守が解除されているときでも、呼出音が約17回鳴ると応答専用メッセージが再生され、留守をセットできるように設定することができます。(●P54)

留守暗証番号を間違えたときは

「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声聞こえます。もう一度、 $\text{Ⓜ}$ 、留守暗証番号、 $\text{Ⓜ}$ の順に押してください。3回間違えると自動的に電話が切れ、次からは1回間違えると電話が切れます。(暗証破りガード)暗証破りガードは、留守をセット/解除したり、主装置の電源をオフにするまで継続されます。また、停電すると解除されます。

メッセージを録音するときは

応答メッセージや伝言メッセージなどを録音するときは「メッセージをどうぞ。」という音声のあと、「ピー」という発信音が聞こえますので、メッセージをお話してください。録音時間は約15秒です。録音を停止するには $\text{Ⓜ}$ を押します。

リモコン操作を途中でやめるには

$\text{Ⓜ}$   $\text{①}$   $\text{Ⓜ}$ を押して電話を切ります。

暗証スキップ電話番号が登録されているときは

あらかじめ留守番電話機に登録されている電話番号(暗証スキップ電話番号)の電話機から電話をかけたときは、暗証番号を入力しなくてもリモコン操作できるように設定することができます(暗証スキップ)。(●P54)ただし、発信電話番号を通知しないときや電話番号の登録操作をしないときは、暗証スキップできません。

リモコン操作で応答メッセージを切り替えるには

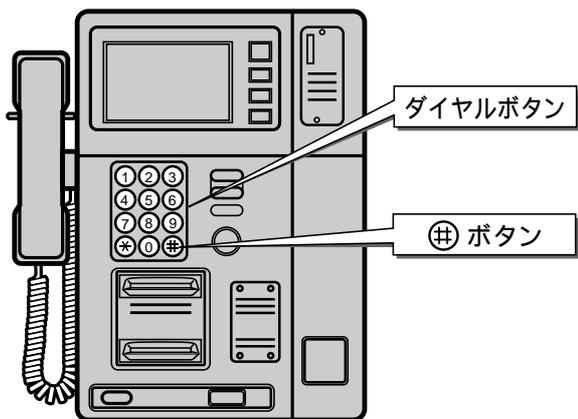
留守応答で使用する応答メッセージを再生または録音します。

トールセイバが設定されているときは

留守番電話に電話をかけたとき、呼出音の回数が次のようになります。

呼出音が3回鳴っても留守応答しないときは、用件は録音されていません。

呼出音回数	留守番電話の状態
2回で留守応答したとき	未再生の用件が1件以上録音されています
6回で留守応答したとき	用件は録音されていません。またはすべての用件は再生済です



### ワンポイント

番号でリモコン操作中に、メニューガイダンスに戻るには手順5で**＃** **⑨** **＃**を押します。手順3の音声に戻ります。ダイレクトリモコン操作中に、対話形式リモコン操作に変更するには手順5で**＃** **⑨** **＃**を押してメニューガイダンスに戻り、**＃** **①** **＃**を押します。対話形式でリモコン操作できるようになります。(●P33)

留守をセットしていないときは(在宅自動応答)留守が解除されているときでも、呼出音が約17回鳴ると応答専用メッセージが再生され、留守をセットできるように設定することができます。(●P54)

留守暗証番号を間違えたときは「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声がかかります。もう一度、**＃**、留守暗証番号、**＃**の順に押してください。3回間違えると自動的に電話が切れ、次からは1回間違えると電話が切れます。(暗証破りガード)暗証破りガードは、留守をセット/解除したり、主装置の電源をオフにするまで継続されます。また、停電すると解除されます。

メッセージを録音するときは応答メッセージや伝言メッセージを録音するときは「メッセージをどうぞ。」という音声のあと、「ピー」という発信音が聞こえますので、メッセージをお話してください。録音時間は約15秒です。録音を停止するには**＃**を押します。

リモコン操作を途中でやめるには**＃** **①** **＃**を押して電話を切ります。

## 番号でリモコン操作する(ダイレクトリモコン)

### 1 レカム・マルチメディアホームシステムFXに電話をかけます。

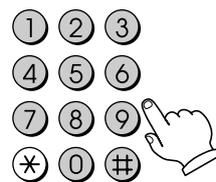
電話がつながると、留守番電話の応答メッセージが聞こえます。



他の内線電話機からの場合には、留守番電話機を内線番号で呼び出します。

### 2 応答メッセージが聞こえている間に、**＃**、留守暗証番号、**＃**を押します。

曜日・時刻、回線種別、録音件数「・・・件です。」という音声のあと、用件が再生されます。



用件が録音されていないときは、「0件です。」という音声のあと、メニューガイダンスが聞こえます。

### 3 メニューガイダンス「対話形式でリモコンを行う場合は#1#を、直接リモコンを行う場合は#4#を、リモコンを終了する場合は#0#をどうぞ。」が聞こえます。

### 4 **＃** **④** **＃**を押します。ダイレクトリモコン操作に設定されます。

「番号をどうぞ。」という音声がかかります。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

6  
ご  
参  
考  
に

(つづき)

## 5 リモコン操作番号 (P37) を押します。

聞こえてくる音声にしたがって、留守番電話をリモコン操作します。



## 6 リモコン操作を終了するときは、**#0#** を押して電話を切ります。

### お知らせ

音声聞こえてから約8秒間何も操作しないと、「番号をどうぞ。」という音声聞こえます。4回目の「番号をどうぞ。」という音声のあと、約8秒たつと電話が切れます。

対話形式およびダイレクトリモコンで用件を再生する場合は、アキュムレート録音 (P54) の設定内容に関わらず、保存されている用件メッセージがすべて再生されます。

ダイレクトリモコンのときは、すでに応答メッセージや伝言メッセージが録音されていると、メッセージを録音できません。メッセージを録音する場合はメッセージを消去してから行ってください。

対話形式リモコンのときは、新たに応答メッセージや伝言メッセージを録音すると、前のメッセージは消去されます。



### ワンポイント

暗証スキップ電話番号が登録されているときは発信電話番号を通知したとき、または電話番号を登録したときで、あらかじめ留守番電話機に登録されている電話番号の電話機 (暗証スキップ電話番号) から電話をかけたときは、暗証番号が入力しなくてもリモコン操作できるように設定することができます (暗証スキップ)。(P54)

ただし、発信電話番号を通知しないときや電話番号の登録操作をしていないとき、内線のときは暗証スキップできません。

リモコン操作で応答メッセージを切り替えるには留守応答で使用する応答メッセージを再生または録音します。

トールセイバが設定されているときは留守番電話に電話をかけたとき、呼出音の回数が次のように変わります。

呼出音が3回鳴っても留守応答しないときは、用件は録音されていません。

呼出音回数	留守番電話の状態
2回で留守応答したとき	未再生の用件が1件以上録音されています
6回で留守応答したとき	用件は録音されていません。またはすべての用件は再生済です

### お願い

他の内線電話機からリモコン操作する場合には、留守番電話機を「トーン呼出」で呼び出してください。「トーン呼出」については、レカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書を参照してください。

音声聞こえているあいだに**#**を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに (目安として約2~3秒) 押ししてください。(電話機によってはできない場合があります。)

携帯電話などで音声聞こえているあいだにリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声終了してから操作してください。

# 番号でできるリモコン操作 (ダイレクトリモコン操作番号)

リモコン操作中「番号をどうぞ。」という音声聞こえたあと、次の操作が行えます。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

6  
ご  
参  
考  
に

① ㊦

(用件再生中に押す)

### 用件戻し

再生中の用件の先頭、または1件前の用件を再生します。先頭の用件のときは、再生中の用件をはじめから再生します。

② ㊦

### 用件再生

用件が先頭から再生されます。

③ ㊦

(用件再生中に押す)

### 用件送り

次の用件を再生します。最後の用件の再生中に押したときは、「番号をどうぞ。」という音声聞こえます。

④ ㊦ ⑤ ㊦

### 応答メッセージ1録音

応答メッセージ1を録音します。

④ ㊦

### 応答メッセージ1再生

応答メッセージ1を再生します。

④ ㊦ ⑧ ㊦

### 応答メッセージ1消去

応答メッセージ1を消去します。

⑥ ㊦ ⑤ ㊦

### 応答2 / 伝言メッセージ録音

応答メッセージ2 (伝言メッセージ選択が「アリ」に設定されているときは伝言メッセージ)を録音します。

⑥ ㊦

### 応答2 / 伝言メッセージ再生

応答メッセージ2 (伝言メッセージ選択が「アリ」に設定されているときは伝言メッセージ)を再生します。

⑥ ㊦ ⑧ ㊦

### 応答2 / 伝言メッセージ消去

応答メッセージ2 (伝言メッセージ選択が「アリ」に設定されているときは伝言メッセージ)を消去します。

⑦ ① ㊦

### 転送セット

転送をセットします。

⑦ ② ㊦

### 転送解除

転送を解除します。

⑦ \* 転送先電話番号 ㊦

転送先を変更します。

⑧ ㊦

(用件再生中に押す)

### 再生中用件消去

再生中の用件を消去します。

\* ㊦

### 留守解除

留守を解除します。

㊦

### 動作停止

再生または録音が停止します。続けて他のリモコン操作を行ってください。

㊦ ⑨ ㊦

### 最初の音声に戻る

「外出先または他の内線電話機から用件を聞くには」の手順3の「メニューガイダンス」に戻ります。

㊦ ① ㊦

### リモコン操作終了

リモコン操作を終了し、電話が切れます。



### ワンポイント

リモコン操作で留守セットするには留守にセットするのを忘れたとき、在宅自動応答(●P54)が「アリ」に設定されていると、リモコン操作で留守をセットすることができます。

レカム・マルチメディアホームシステムFXに電話をかける  
呼出音が約17回鳴ったあと、応答専用メッセージが聞こえる

応答専用メッセージが聞こえているあいだに㊦、留守暗証番号、㊦を押す  
タイムスタンプ、応答メッセージが聞こえたあと、「留守設定にしました。」という音声聞こえる

# 用件を外出先へ転送するには (転送)

転送とは、留守番電話に用件が録音されたことを自動的に外出先へ電話をかけて知らせる機能です。転送先種別を設定して、ポケットベルや携帯電話に知らせることもできます。転送を行うには、あらかじめ留守暗証番号と転送先の電話番号の登録が必要です。

## 転送とは

### 転送の準備 (留守番電話機)

留守暗証番号を登録します。(●P32)

転送先種別、転送先の電話番号などを登録します。(●P39、40、41)

転送をセットします。(●P42)

留守をセットします。(●P18)  
リモコン操作で外線や、他の内線電話機からも留守をセットできます。(●P30、31)

外出します。

### 外出中

用件が録音されると転送先へ自動的に電話をかけます。

転送先で電話を受けます。(●P43)

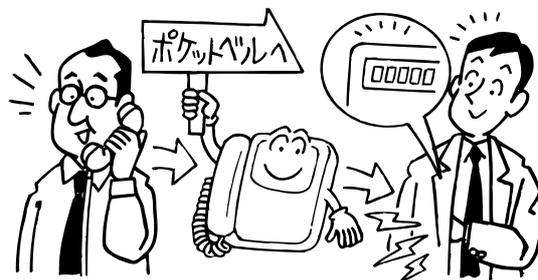
留守暗証番号を使って用件を聞きます。

### 転送の利用例

#### ディスプレイポケットベルに転送

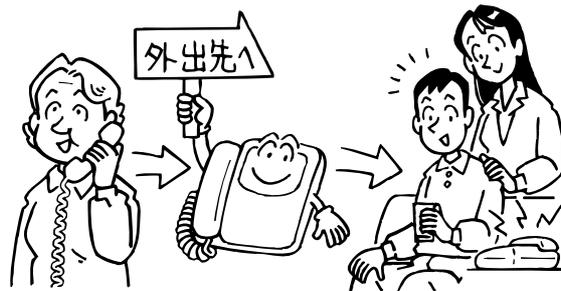
留守中に用件が録音されると、ディスプレイポケットベルを呼び出します。

呼び出されたら、レカム・マルチメディアホームシステム FXに電話をかけ、リモコン操作(●P30)で用件を聞いてください。



#### 外出先の電話機に転送

用件が録音されると、自動的に転送先へ電話をかけます。転送先で用件を聞くことができます。(●P43)



帰宅したら

転送を解除します。

転送セットを「ナシ」に設定します。(●P52)

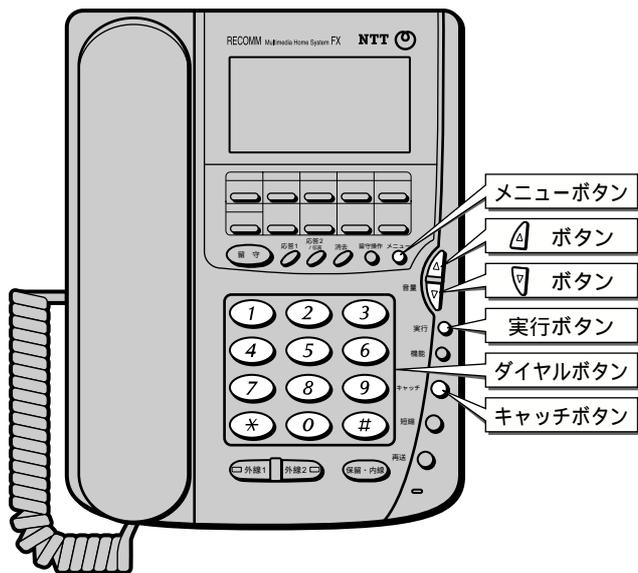


### ワンポイント

転送をセットしないで外出したときは、外出先からリモコン操作で転送をセットすることができます。(●P33、37)

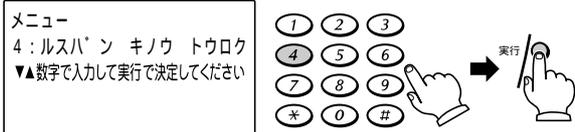
# 転送先を登録するには

転送をセットする前に、転送先種別、電話番号を設定、登録します。電話番号は32桁まで登録することができます。これらの設定、登録は留守番電話機の他、外出先からリモコン操作もできます。



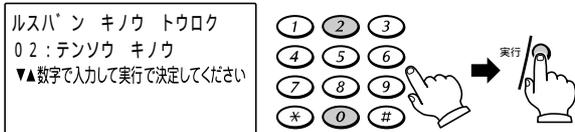
## 転送先種別を設定する

**1** メニューボタン、④を押して「4 : ルスバン キノウ トウロク」を表示させ、実行ボタンを押します。



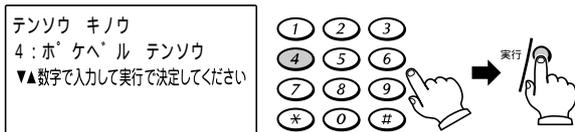
④のかわりに ボタンまたは ボタンを押しても表示できます。

**2** ①②を押して「02 : テンソウ キノウ」を表示させ、実行ボタンを押します。



①②のかわりに ボタンまたは ボタンを押しても表示できます。

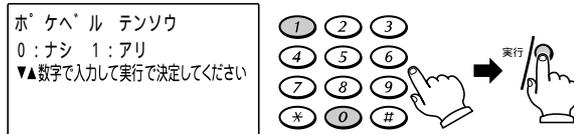
**3** ④を押して「4:ポケベル テンソウ」を表示させ、実行ボタンを押します。



④のかわりに ボタンまたは ボタンを押しても表示できます。

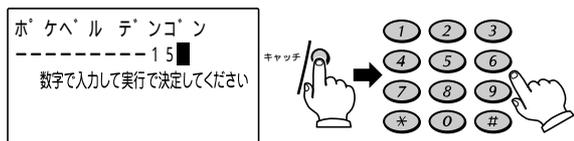
**4** 転送先が電話のときは①を、ポケットベルのときは①を押し、実行ボタンを押します。

転送先に電話を選択したときは転送先種別が登録され、手順2の画面になります。転送先にポケットベルを選択したときは、ディスプレイに「ポケベルデンゴン」と表示されます。手順5に進んでください。



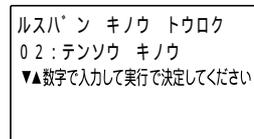
**5** キャッチボタンと転送先ポケットベルのディスプレイに表示するメッセージ番号(40桁まで)を押します。

キャッチボタンは1回押すごとに約3秒のポーズ(待ち時間)になり、「-(ハイフン)」で表示されます。



**6** 実行ボタンを押します。

転送先種別が登録され、転送機能登録の表示に戻ります。メニューボタンを押すと、カレンダー・時計表示に戻ります。



## お知らせ

手順5で押したキャッチボタンは、ポケットベル局のメッセージが流れている間のポーズ(待ち時間)を入れるために押します。ポケットベル局のメッセージの長さに合わせて、キャッチボタンを押す回数を決めてください。ポケットベルのディスプレイに表示するメッセージ番号については、ポケットベルの取扱説明書を参照してください。

1 お使いになる前に

2 留守番電話を使う

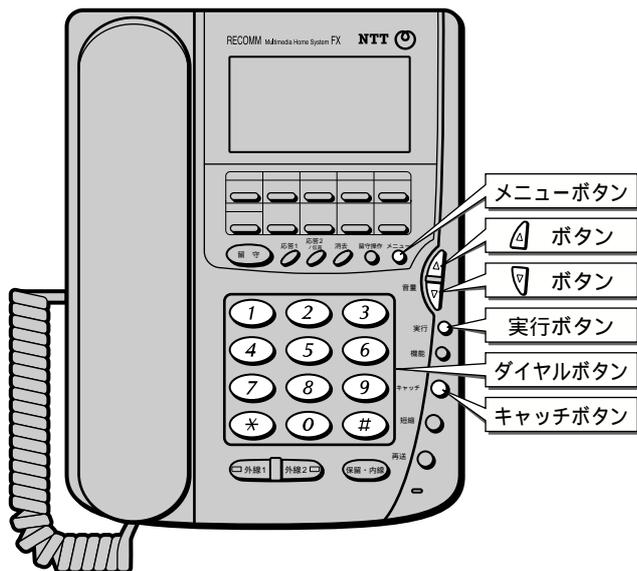
3 リモコン操作する

4 用件を転送する

5 より便利に使う

6 ご参考に

# 転送先を登録するには

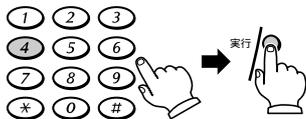


## 転送先の電話番号を登録する

転送先のポケットベルや電話、携帯電話などの電話番号を登録します。

**1** メニューボタン、**④**を押して「4 : ルスバン キノウ トウロク」を表示させ、**実行ボタン**を押します。

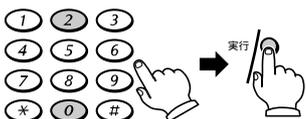
メニュー  
4 : ルスバン キノウ トウロク  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



**④**のかわりに**4**ボタンまたは**7**ボタンを押しても表示できます。

**2** **①****②**を押して「02 : テンソウ キノウ」を表示させ、**実行ボタン**を押します。

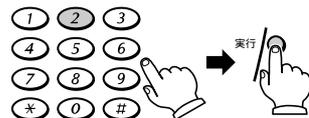
ルスバン キノウ トウロク  
02 : テンソウ キノウ  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



**①****②**のかわりに**4**ボタンまたは**7**ボタンを押しても表示できます。

**3** **②**を押して「2 : テンソウサキ バンゴウ」を表示させ、**実行ボタン**を押します。

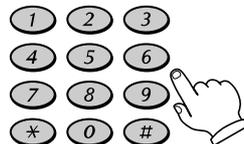
テンソウ キノウ  
2 : テンソウサキ バンゴウ  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



**②**のかわりに**4**ボタンまたは**7**ボタンを押しても表示できます。

**4** 転送先電話番号を（32桁まで）**ダイヤルボタン**で押します。

テンソウサキ バンゴウ  
0312345678  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



**5** **実行ボタン**を押します。

転送先電話番号が登録され、次の登録画面が表示されます。メニューボタンを押すと、カレンダー・時計表示に戻ります。

テンソウ キノウ  
3 : ハッシン ガイセン  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



### ワンポイント

リモコン操作で転送先を選択するには  
外出先や他の内線電話機からリモコン操作で転送先を選択することができます。(P37、52)

転送先の電話番号を変更するには  
新たに転送先を登録し直してください。

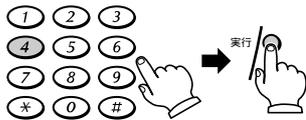
### お知らせ

キャッチボタンを押すごとに約3秒間のポーズが入ります。ディスプレイには「- (ハイフン)」が表示されます。

## 転送に使う外線を設定する

### 1 メニューボタン、④を押して「4：ルスパン キノウ トウロク」を表示させ、実行ボタンを押します。

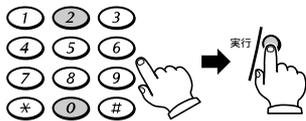
メニュー  
4：ルスパン キノウ トウロク  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



④のかわりに△ボタンまたは▽ボタンを押しても表示できます。

### 2 ①②を押して「02：テンソウ キノウ」を表示させ、実行ボタンを押します。

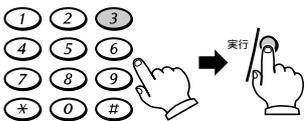
ルスパン キノウ トウロク  
02：テンソウ キノウ  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



①②のかわりに△ボタンまたは▽ボタンを押しても表示できます。

### 3 ③を押して「3：ハッシン ガイセン」を表示させ、実行ボタンを押します。

テンソウ キノウ  
3：ハッシン ガイセン  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



③のかわりに△ボタンまたは▽ボタンを押しても表示できます。

### 4 転送に使う外線を選択し、実行ボタンを押します。

転送に使う外線が設定されます。メニューボタンを押すと、カレンダー・時計表示に戻ります。

ハッシン ガイセン センタク  
0：ナシ 1：1L 2：2L  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



- ①：無し
- ②：外線1
- ③：外線2

「無し」に設定すると、自動的に空いている外線から発信できます。

## ワンポイント

ディスプレイポケットベルを転送先として登録するには  
＜例＞NTTドコモディスプレイポケットベルを呼び出して、自宅の電話番号を表示させる

「転送先種別を設定する」の手順3で④を押して「4：ポケベル テンソウ」を選択し、実行ボタンを押す  
①を押して「4：ポケベル テンソウ 1：アリ」を選択し、実行ボタンを押す

ディスプレイに「ポケベル デンゴン」と表示されたら、キャッチボタンを押す

キャッチボタンは、ディスプレイポケットベル局のメッセージが流れているあいだの待ち時間を入れるために押します。ポケットベル局のメッセージの長さに合わせて、キャッチボタンを押す回数を決めてください。

のあと表示させる自宅の電話番号をダイヤルボタンで押して、実行ボタンを押す

「転送先の電話番号を登録する」の手順4でディスプレイポケットベルの電話番号をダイヤルボタンで押して、実行ボタンを押す

## お知らせ

転送先の電話番号を誤って登録すると、用件が録音されるたび、誤った相手に繰り返し電話がかかりますのでご注意ください。

1  
前に  
お使いになる

2  
使う  
留守番電話を

3  
する  
リモコン操作

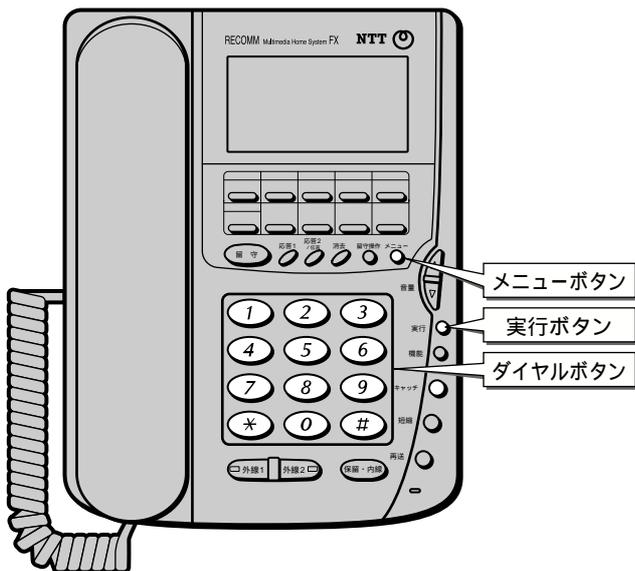
4  
用件を転送する

5  
より便利に使う

6  
ご参考に

# 転送をセットするには

転送をセットすると、用件が録音されたあと、転送先に自動的に電話をかけます。また、転送先で用件を聞くこともできます。(●P43) 転送するときには、あらかじめ留守をセットしておいてください。



## ワンポイント

転送を解除するには  
転送がセットされているとき、手順4で「ナシ」を選択します。留守がセットされているときは、ディスプレイの「転送」が消えます。

リモコン操作で転送をセット/解除するには  
外出先や他の内線電話機からリモコン操作で転送先をセット/解除することができます。(●P33、35)



## お知らせ

転送をセットしていても、留守がセットされていないと転送されません。

用件録音時間が「0 (応答専用)」に設定されているときは、転送されません。

録音可能時間が満杯で、用件が録音できなかったときは、転送されません。

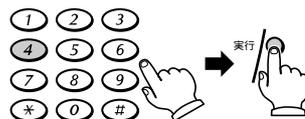
相手の方が用件を録音しないで電話を切ったときや用件が短かすぎるときは、転送されないことがあります。

転送は、用件メッセージ録音終了約1分後に開始します。転送先がお話中などで応答しない場合、約3分後に再発信されます。

転送中はボタン操作は行えません。ハンドセットを取りあげて置くと転送を中止します。

### 1 メニューボタン、④を押して「4：ルスバン キノウ トウロク」を表示させ、実行ボタンを押します。

メニュー  
4：ルスバ`ン キノウ トウロク  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



④のかわりに△ボタンまたは▽ボタンを押しても表示できます。

### 2 ①②を押して「02：テンソウ キノウ」を表示させ、実行ボタンを押します。

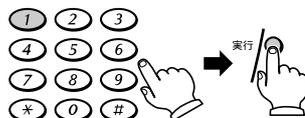
ルスバ`ン キノウ トウロク  
02：テンソウ キノウ  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



①②のかわりに△ボタンまたは▽ボタンを押しても表示できます。

### 3 ①を押して「1：ヨウケンロクオン テンソウ」を表示させ、実行ボタンを押します。

テンソウ キノウ  
1：ヨウケン ロクオン テンソウ  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



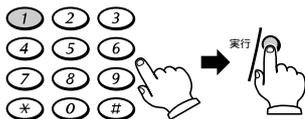
①のかわりに△ボタンまたは▽ボタンを押しても表示できます。

### 4 ①を押して「アリ」を選択し、実行ボタンを押します。

転送がセットされます。

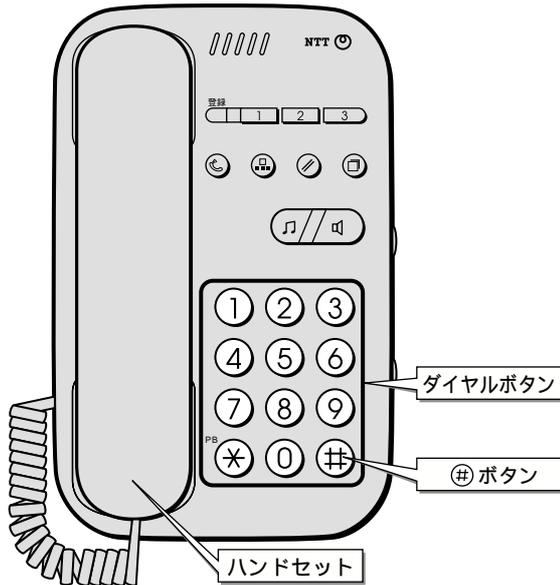
メニューボタンを押すと、カレンダー・時計表示に戻ります。留守がセットされているときは、ディスプレイに「転送」と表示されます。

ヨウケンロクオン テンソウ  
0：ナシ 1：アリ  
▼▲数字で入力して実行で決定してください



# 転送先で用件を受けるには

転送によって転送先に電話がかかってきたときは、留守暗証番号を使って、録音されている用件を聞くことができます。転送先がポケットベルに設定されているときは、ポケットベルに通知されます。



## 1 転送先に電話がかかります。



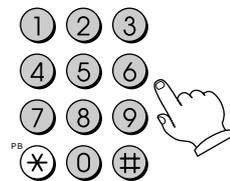
## 2 ハンドセットを取りあげます。

「ピッピッ、転送します。」という音声が聞こえます。



## 3 音声が聞こえているあいだに、#、留守暗証番号、#を押します。

曜日・時刻、回線種別、録音件数「...件です。」という音声のあと、用件が再生されます。



## 4 再生が終わったら、#0#を押して電話を切ります。



### お知らせ

転送は、用件録音終了約1分後に開始します。転送先がお話中などで応答しない場合、約3分後に再発信します。

転送できなかったときは、新しい用件が録音されるまで転送されません。

手順2で、音声が聞こえてから約50秒以内に留守暗証番号を入力しなかったときは、電話が切れます。この場合、再度通知されません。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

6  
ご  
参  
考  
に



### ワンポイント

ポケットベルが転送先に設定されているときは、ポケットベルのディスプレイに「転送先種別を設定する」(P39)で設定されたメッセージが表示されます。録音された用件を聞くには、留守番停電電話機に電話をかけてリモコン操作してください。

留守暗証番号を間違えたときは「もう一度入力してください。番号をどうぞ。」という音声がかかります。もう一度、**Ⓜ**、留守暗証番号、**Ⓜ**の順に押してください。3回間違えると自動的に電話が切れ、次からは1回間違えると電話が切れます(暗証破りガード)。暗証破りガードは、留守をセット/解除したり、主装置の電源をオフにするまで継続されます。また、停電すると解除されます。

用件を受けることのできる電話機は必ずブッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、ブッシュ信号を送る機能があれば用件を再生することができます。

操作を途中でやめるときは**Ⓜ** **①** **Ⓜ**を押して電話を切ります。

用件再生が終わったあとは「対話形式でリモコンを行う場合は# 1 #を、直接リモコンを行う場合は# 4 #を、リモコンを終了する場合は# 0 #をどうぞ」という音声がかかります。**Ⓜ** **①** **Ⓜ**で対話形式リモコン(P33)  
**Ⓜ** **④** **Ⓜ**でダイレクトリモコン(P35)の操作ができます。

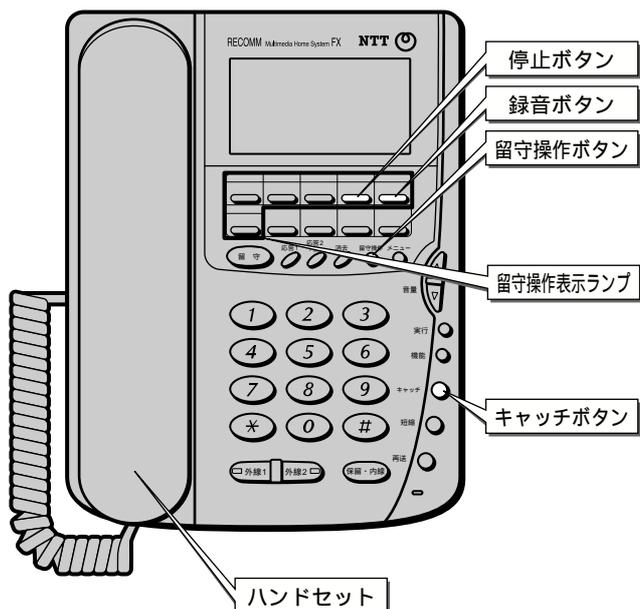
### STOP お願い

音声が聞こえているあいだに**Ⓜ**を押す場合は、音声が確実に止まるように、少し長めに(目安として約2~3秒)押してください。(電話機によってはできない場合があります。)

携帯電話などで音声が聞こえているあいだにリモコン操作をした場合は正常に動作しないことがありますので、音声が終了してから操作してください。

# 外の相手の方とのお話しを録音するには (通話中録音)

外の相手の方とお話し中の会話を録音することができます。録音した内容は、用件の1件として数えられます。



## お知らせ

録音可能時間がディスプレイに表示されます。実際の録音可能時間と異なる場合もありますので、目安としてお使いください。

留守操作表示ランプが点灯中に留守操作ボタンを押すと、ランプが消え、操作できません。このときは、もう一度、留守操作ボタンを押してランプの点灯を確認し、手順2から操作してください。

録音中に電話を切る、他の空いている ボタンを押す、または保留すると録音は終了します。他の保留している外線や着信している外線に应答した場合、録音は継続します。

アキュムレート録音が「ナシ」に設定されているときに(●P54)、留守セットすると通話中録音した内容は消去されます。

用件録音転送を「アリ」に設定していても(●P52)、録音後、外出先への自動転送は行われません。

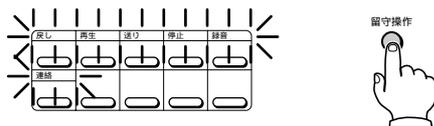
音楽等は原音どおりに録音・再生されないことがあります。

相手の方に無断で通話を録音すると、個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。相手の方にお断りのうえ録音してください。

1つの通話中で録音ボタン、停止ボタンを繰り返して押すことで、複数個の通話録音ができます。ただし、約1秒以内の録音は登録されません。

ハンドセットを置いたままお話ししているときは(ハンズフリー通話) 自分の声がかうまく録音されないことがあります。会話を録音するときはハンドセット通話でお使いください。

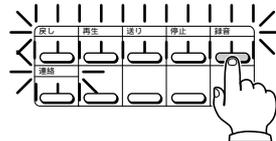
## 1 お話し中に、留守操作ボタンを押します。



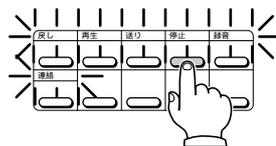
## 2 録音ボタンを押します。

録音が始まります(開始音は鳴りません)。

ツウワ ロクオン  
ワンタッチボ タンデ' ルスソウサ



## 3 録音を止めるときは、停止ボタンを押します。



## ワンポイント

通話中録音した内容を再生・消去するには留守セットによる用件の再生・消去方法と同じです。(●P22)

通話中録音で会話を録音できる時間は最大で約15分(応答メッセージ録音、用件録音を含みます。また、録音件数が増えると短くなります) または59件までです。録音が満杯になると、録音が止まります。

1  
前に  
お使  
い  
に  
なる

2  
使  
う  
留守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

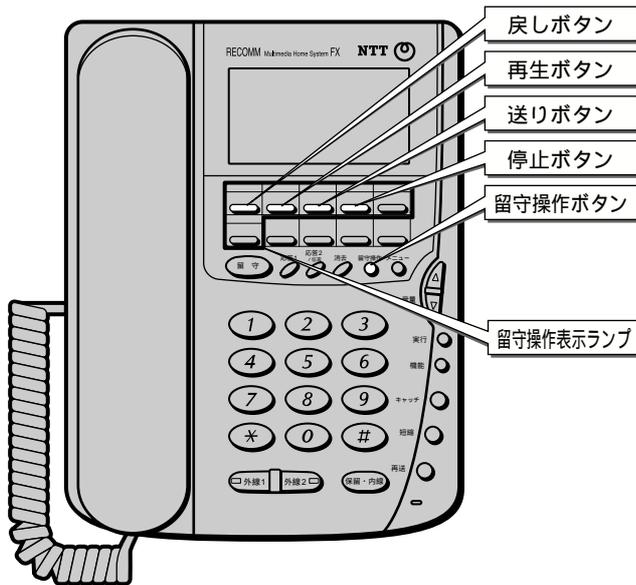
4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

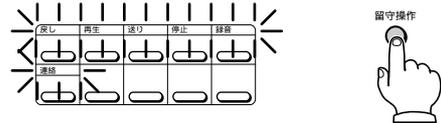
6  
ご  
参  
考  
に

# 録音されている用件を外の相手の方と 聞くには (通話中再生)

お話し中に録音されている用件を再生して、外の相手の方と一緒に聞くことができます。

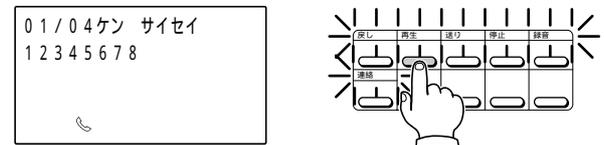


## 1 お話し中に、留守操作ボタンを押します。

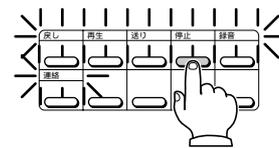


## 2 再生ボタンを押します。

用件や通話中録音したお話しが、録音された順に再生されます。



## 3 再生を止めるときは、停止ボタンを押します。



### ワンポイント

録音内容の再生中にできる操作は  
次の操作が行えます。

- 再生中の内容を聞き直す : 戻しボタン
- 再生中の内容をとばして次の内容を聞く : 送りボタン
- 再生を途中で止める : 停止ボタン

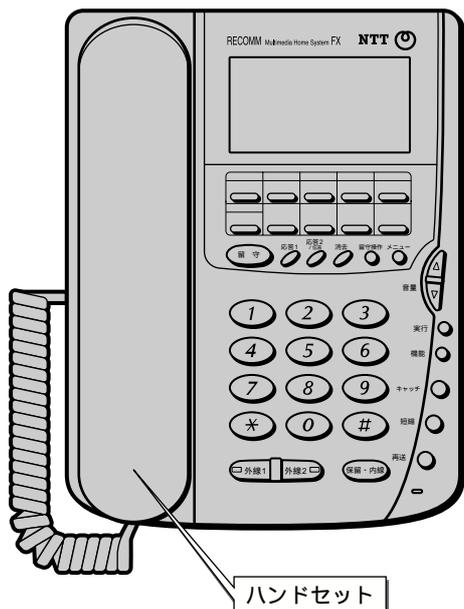
ハンドセットを置いたままお話ししているときは(ハンズフリー通話)  
録音内容の再生中は、お話をしても、相手の方には聞こえません。

### お知らせ

留守操作表示ランプが点灯中に留守操作ボタンを押すと、ランプが消え、操作できません。このときは、もう一度、留守操作ボタンを押してランプの点灯を確認し、手順2から操作してください。  
再生中に電話を切る、他の空いている(外線1 外線2) ボタンを押す、または保留すると再生は終了します。他の保留している外線や着信している外線に应答した場合、再生は継続します。  
録音内容の再生中に録音内容を消去することはできません。

# 相手を確認してから電話に出るには (居留守応答)

留守番電話が応答、録音しているときにスピーカから相手の方の声が聞こえます(留守モニタ)。在宅時に留守をセットしておくで相手の方を確認してから電話に出られます。あらかじめ、留守モニタを行うよう設定する必要があります。(●P52) お買い求め時は、留守モニタは「アリ」に設定されています。



## 1 電話がかかってくると、留守番電話が応答します。

スピーカから応答メッセージが聞こえ、「ピー」という音のあとに相手の方の声が録音されます。



## 2 相手の方の声を確認して、ハンドセットを取りあげます。

電話に出ると、用件の録音は自動的に止まります。



## 3 相手の方とお話しします。



## 4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。



電話を切ったあとも、留守はセットされています。



### お知らせ

居留守応答で電話に出るまでに録音された内容は、用件の1件として数えられます。

用件録音転送を「アリ」に設定していても(●P52) 録音後、外出先への自動転送は行われません。

1  
前  
に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を

3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

6  
ご  
参  
考  
に

# 留守連携機能を使うには

留守連携機能は、レカム・マルチメディアホームシステムFXに2台以上の留守番電話機(カラー表示付き留守番電話機を含む)を接続しているとご利用になれる機能です。あらかじめ、留守連携機能を利用したい留守番電話機の内線番号をシステム設定する必要があります。登録していない留守番電話機は通常の留守番電話機としてご利用になれます。  
システム設定するときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

## 留守連携機能とは

留守連携機能をシステム設定すると、留守番電話機に録音されている用件を、他の留守番電話機からも聞くことができます。どちらの留守番電話機も留守連携機能を利用できるよう設定されている必要があります。

### 留守連携機能を設定するとご利用にならない機能

- 転送(用件を外出先へ転送させる)(●P38)
- トールセイバ(●P16)
- 録音可能時間表示(●P27)
- リモコン操作による応答/伝言の再生、録音、消去(●P37)

### 留守番電話機で留守をセットする

留守連携機能が設定されている留守番電話機のうち、1台でも留守をセットすると、すべての留守番電話機の留守がセットされます。

ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押します

留守ボタンを押した電話機の応答メッセージが聞こえ、留守がセットされます

### 留守番電話機で留守を解除する

留守連携機能が設定されている留守番電話機のうち、1台でも留守を解除すると、すべての留守番電話機の留守が解除されます。留守を解除した留守番電話機に録音されている用件が再生され、他の留守番電話機の用件件数が聞こえます。

ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押します

留守が解除され、「・・・件です。」という音声のあと、用件の再生が始まります

用件の再生がすべて終了すると、「内線・・に・・件のメッセージがあります。」という音声聞こえます



#### お知らせ

内線電話機の呼び出し方法を「トーン呼出」としておくと必要があります。

### 留守番電話機で用件を聞く

操作を行う留守番電話機に録音されている用件を聞きます。留守セット中も用件を聞けます。

ハンドセットを置いたまま、留守操作ボタンを押します

再生ボタンを押します

用件の再生が始まります

### 他の留守番電話機の用件を聞く

留守連携機能が設定されている他の留守番電話機を呼び出して、呼び出した留守番電話機に録音されている用件を聞きます。留守セット中も用件を聞けます。

保留・内線 ボタンを押します

呼び出したい留守番電話機の内線番号(1桁)を押します

応答メッセージが聞こえます  
ただし、呼び出された方がハンドセットを取りあげると、用件を聞くことはできません

応答メッセージが聞こえている間に#、留守暗証番号(3~6桁)、#を押します

現在の曜日と時刻、回線種別に続いて、「・・・件です。」という音声聞こえ、用件の再生が始まります  
用件の再生がすべて終了すると、「内線・・に・・件のメッセージがあります。」、「対話形式でリモコンを行う場合は#、1、#を、直接リモコンを行う場合は#、4、#を、リモコンを終了する場合は#、0、#をどうぞ。」という音声聞こえます

リモコンを終了する場合は、# 0 #を押します

## 外出先から用件を聞く

レカム・マルチメディアホームシステム F Xに電話をかけます

応答メッセージが聞こえている間に(Ⓜ)、留守暗証番号(3~6桁)(Ⓜ)を押します

現在の曜日と時刻、回線種別に続いて、「・・・件です。」という音声が入聞こえ、電話をかけた留守番電話機に録音されている用件の再生が始まります

用件の再生がすべて終了すると、「内線・・・件のメッセージがあります。」「対話形式でリモコンを行う場合は#、1、#を、直接リモコンを行う場合は#、4、#を、リモコンを終了する場合は#、0、#をどうぞ。」という音声が入聞こえます

リモコンを終了する場合は、(Ⓜ)、(①)、(Ⓜ)を押します  
また、留守連携機能が設定されている他の留守番電話機の用件を聞く場合は手順、 を行います

(Ⓜ)、(④)、(Ⓜ)を押します

(②)、内線番号(1桁)(Ⓜ)を押します

保留音のあと、現在の曜日と時刻、回線種別に続いて、「・・・件です。」という音声が入聞こえ、用件の再生が始まります



## ワンポイント

留守暗証番号を登録するときは

留守連携機能を設定しているときは、応答メッセージと留守暗証番号を同じにすると便利です。

留守番停電電話機で用件の再生中にできる操作は

再生中の内容を聞き直す、または : 戻しボタン  
前の内容を聞く

再生中の内容をとばして次の内容を聞く : 送りボタン  
再生を途中で止める : 停止ボタン

連絡先番号を登録した方に : 連絡ボタン  
電話をかける



## お知らせ

応答した留守番電話機でのみ用件は録音され、その電話機の留守ランプが点滅します。他の留守番電話機には録音されません。

居留守応答(●P47)は、応答中の留守番電話機でのみできます。

アキュムレート録音の設定を「ナシ」に設定している留守番電話機では(●P54)留守をセットしたときに、前に録音された用件がすべて消去されますが、前の用件を消去したくないときは、設定を「アリ」にしてください。

タイマで留守セットしたときも(●P54)留守連携機能をご利用になれます。

留守セット中にすべての留守番電話機の録音がいっぱいになると約3秒後に自動応答し、「ただいま、留守にしております。のちほどおかけ直してください。」という応答専用メッセージが流れ、用件は録音できなくなります。

「内線・・・件のメッセージがあります。」というメッセージは、留守連携機能が設定されている留守番電話機に未再生の用件がある場合のみ流れます。

「内線・・・件のメッセージがあります。」の件数には、留守解除しているときに録音されたものは含まれません。

内線からのリモコン操作で留守セットはできません。

留守連携機能が設定されているときは、若い内線番号の留守番電話機から応答します。設定された内線番号により、応答するまでに約3~27秒かかる場合があります。留守番電話機に若い内線番号を設定すると早く応答させることができます。

留守連携機能を設定しているときは、着信音の音色を「トーン」に設定してください。

リモコン操作中に留守解除操作をした場合、電話を切るまで留守解除されませんので、その間は他の電話機への用件録音は行われず。

1  
前にお使いになる

2  
使う留守番電話を

3  
するリモコン操作

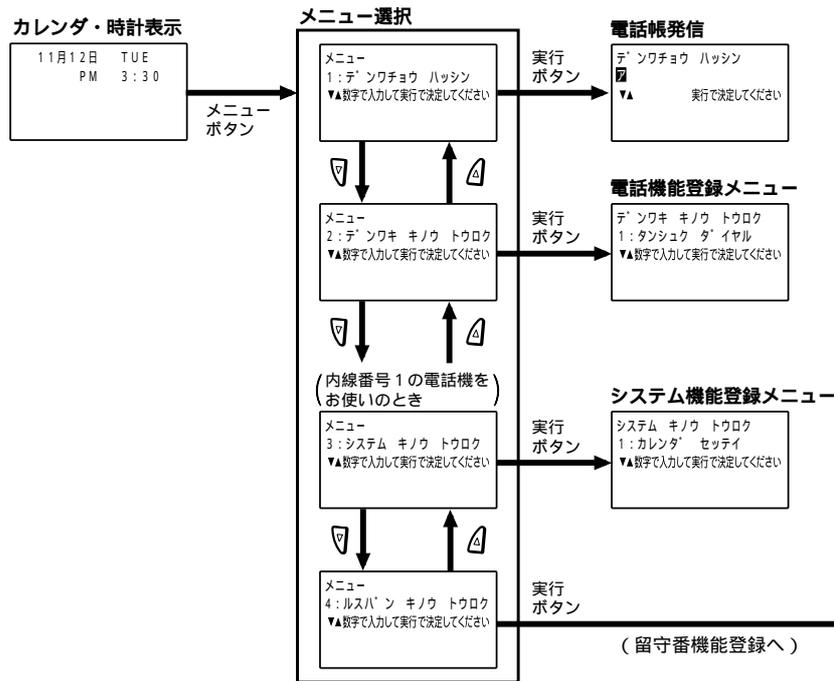
4  
用件を転送する

5  
より便利に使う

6  
ご参考に

# メニューの流れ

いろいろな登録・設定はメニュー画面から行います。登録・設定の操作については、それぞれの解説ページまたは「いろいろな機能を登録・設定するには」(P 52)を参照してください。各機能の登録・設定については、お使いのレカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプの取扱説明書を参照してください。



## ワンポイント

メニュー画面操作のガイダンスについて

が画面に表示されているときは、▽ボタンを押すと次の画面に進めることを示します。

また、が画面に表示されているときは、▲ボタンを押すと前の画面に戻れることを示します。「数字で入力して実行で決定してください」と画面に表示されているときは、数字で入力して実行ボタンを押すと、その項目が選択でき、次の画面に進めます。

設定内容を変えずに進むには

メニューボタンを押してから表示される各画面で、設定内容を変えずに次の画面を表示するには、実行ボタンだけを押します。

各画面の途中でカレンダー・時計表示の画面に戻すにはメニューボタンを押します。

## お知らせ

システム機能登録メニュー画面は、内線番号1以外の電話機でも表示されますが、実行ボタンを押しても無効です。

設定中に外から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずランプで表示されます。メニュー登録を終了してから応答してください。留守セット中はメニュー登録を終了するまで留守応答できません。

操作を間違えたときは、メニューボタンを押してカレンダー・時計表示の画面に戻し、再度メニューボタンから始めてください。

1  
前に  
お使いになる

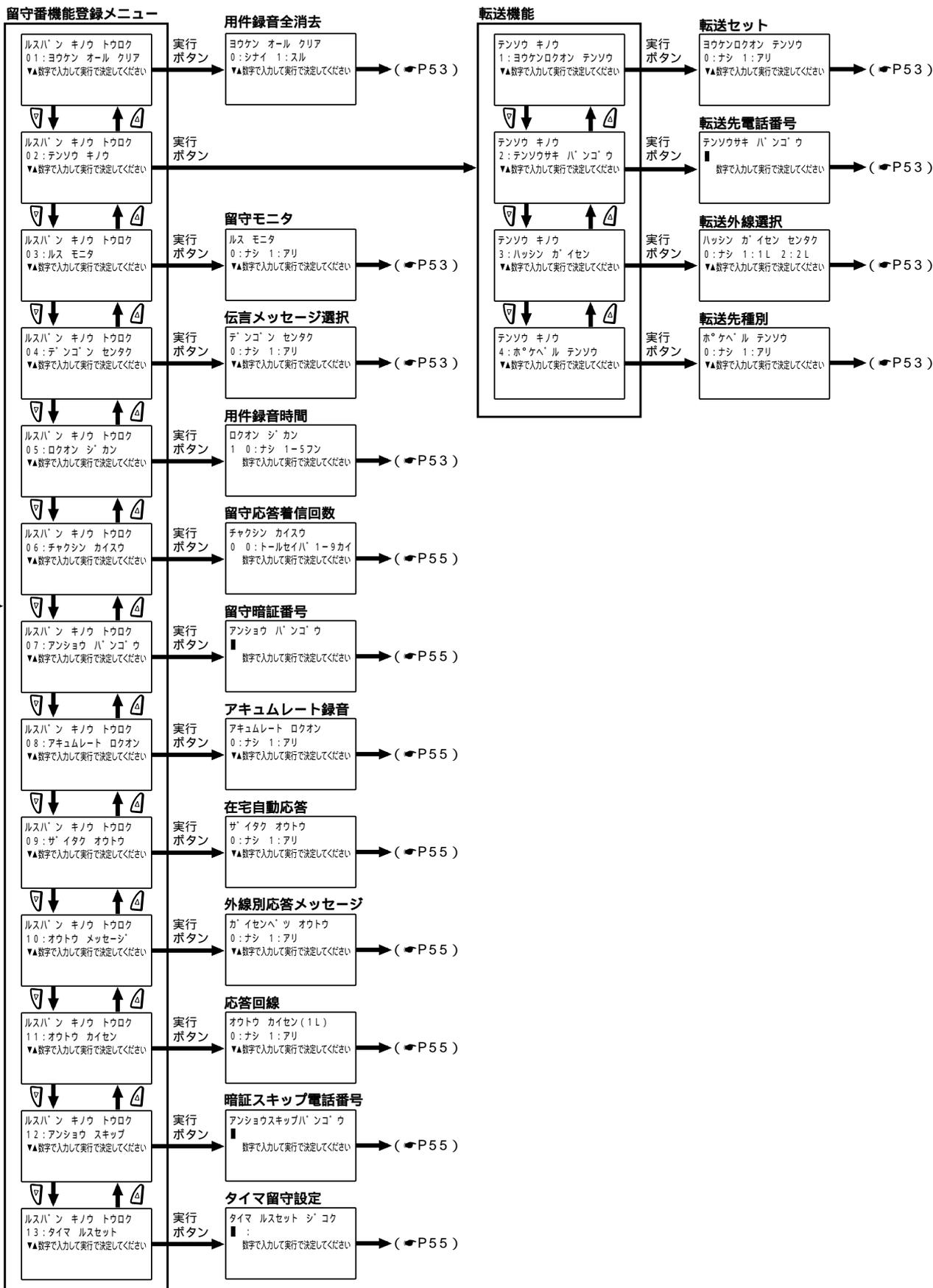
2  
使う  
留守番電話を

3  
する  
リモコン操作

4  
用件を転送する

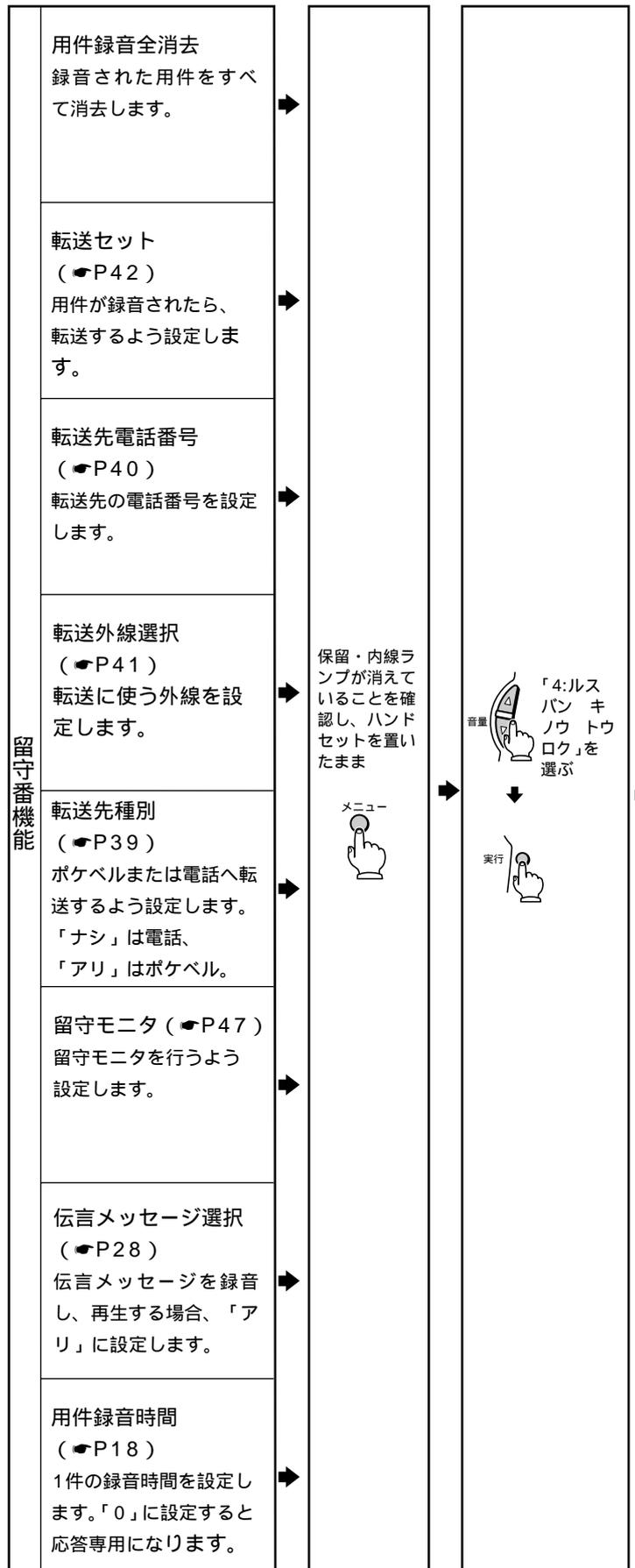
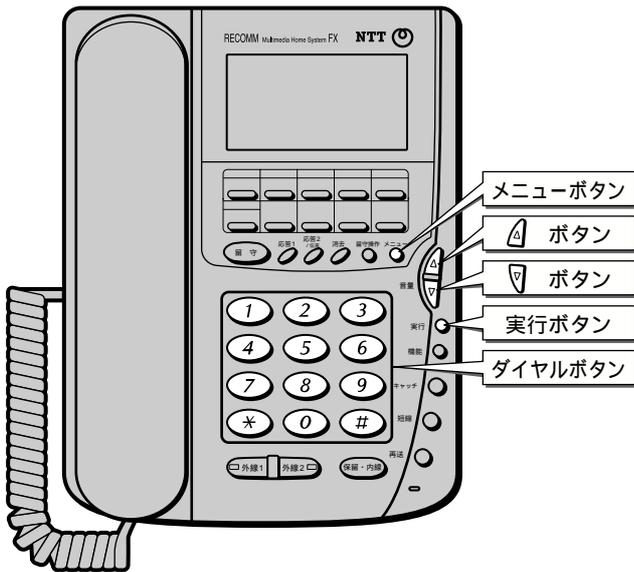
5  
より便利に使う

6  
ご参考に



# いろいろな機能を登録・設定するには

留守番停電電話機で以下の機能（留守番機能登録メニュー）を登録・設定できます。ディスプレイに表示されるガイダンスの指示に従って操作してください。登録・設定が完了すると、登録確認音が鳴ります。

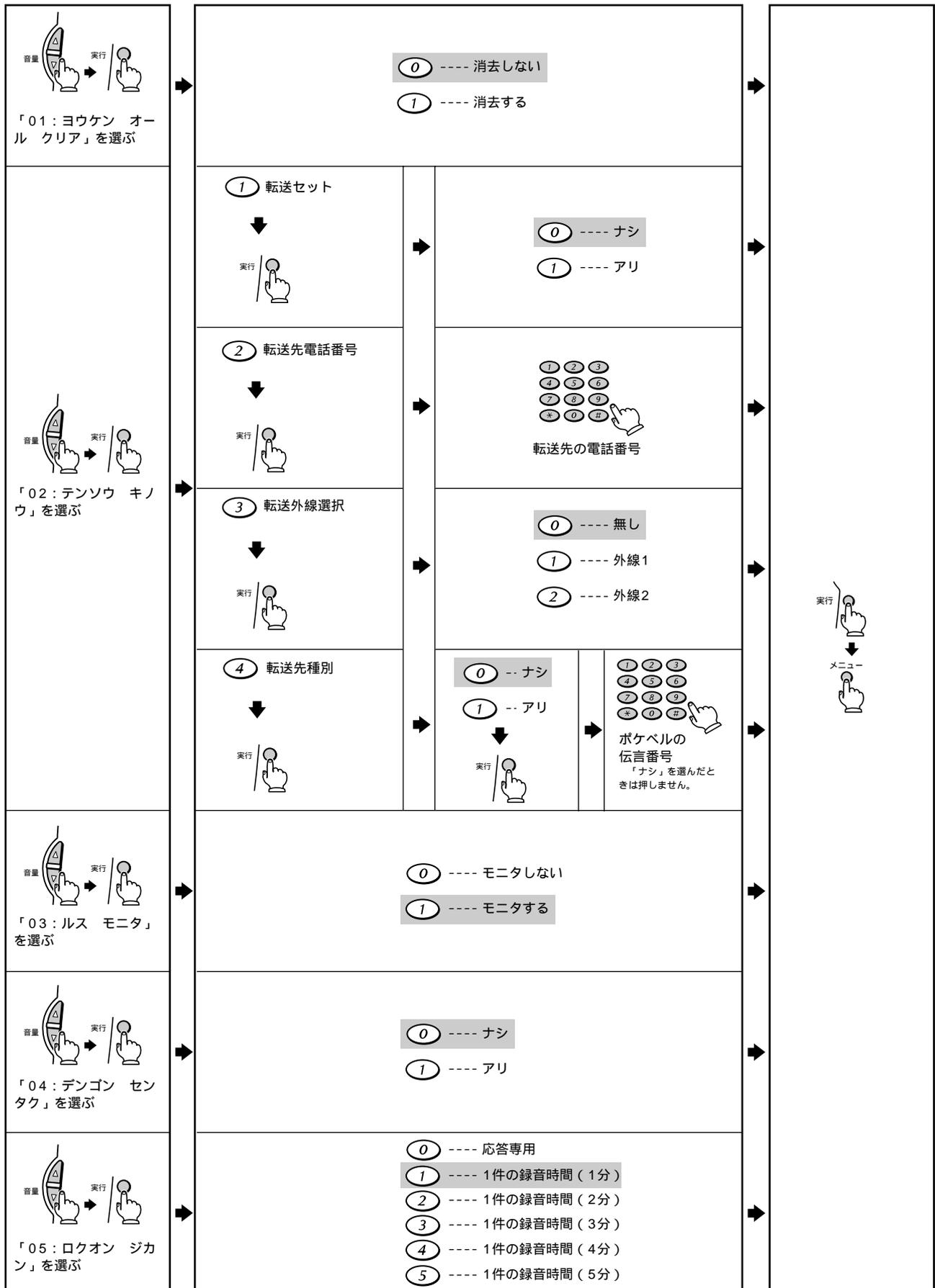


## お知らせ

設定中に外から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずランプで表示されます。メニュー登録を終了してから応答してください。

操作を間違えたときは、メニューボタンを押してカレンダー・時計表示の画面に戻し、再度メニューボタンから始めてください。

お買い求め時は        に設定されています。



**1** 前に  
お使いになる

**2** 使う  
留守番電話を

**3** する  
リモコン操作

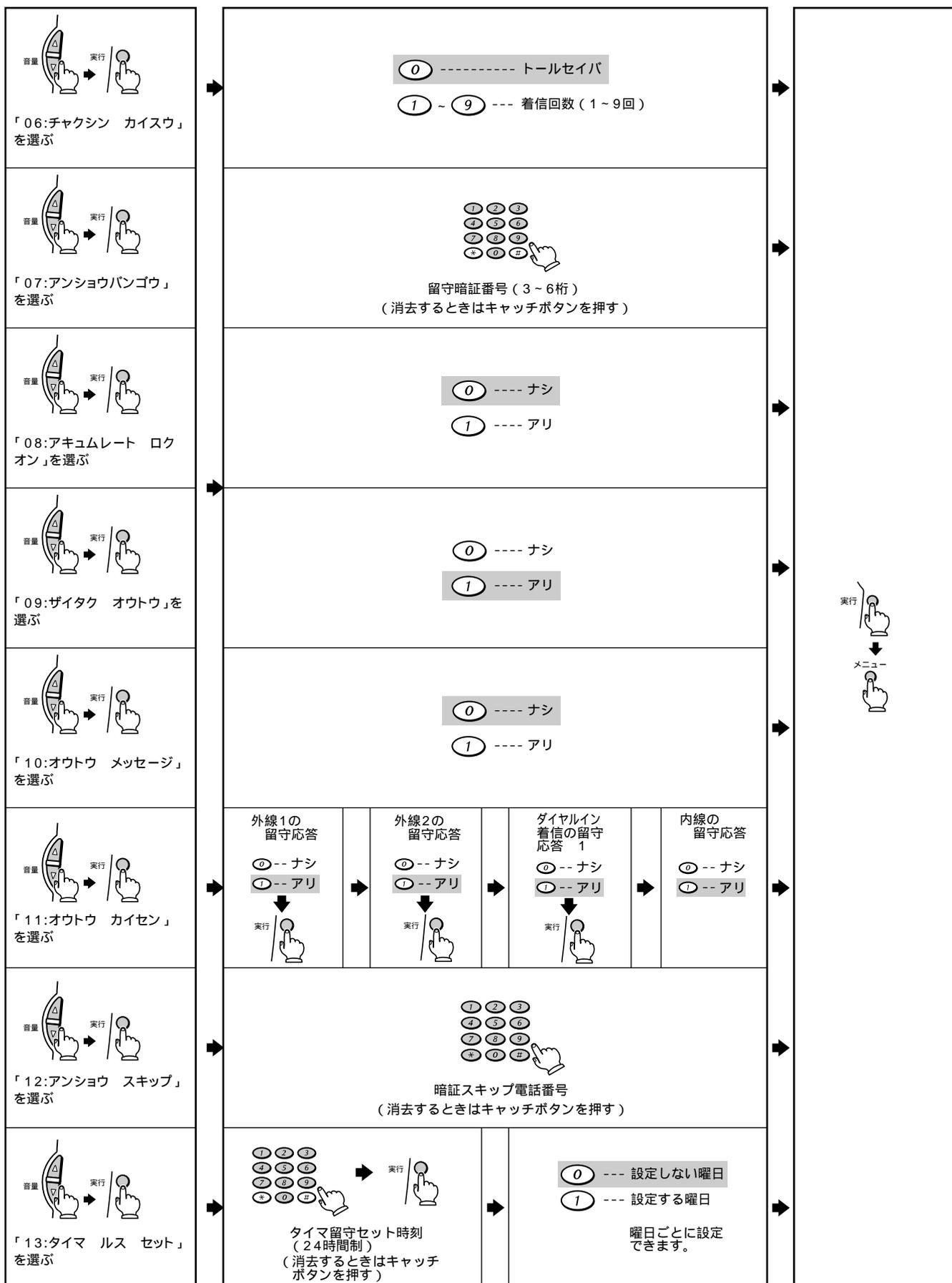
**4** 用件を転送する

**5** より便利に使う

**6** ご参考に



お買い求め時は        に設定されています。



1 外線着信音色をメロディに設定している場合、ダイアルイン着信の留守応答が「アリ」に設定されていて、ダイアルインの鳴動電話機が1台のとき、外線1、2の設定にかかわらず外線着信に应答します。

**1**  
前に  
お使いになる

**2**  
使う  
留守番電話を

**3**  
する  
リモコン操作

**4**  
用件を転送する

**5**  
より便利に使う

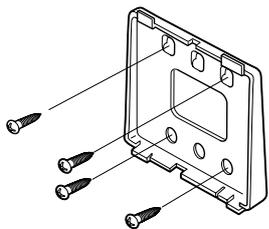
**6**  
ご参考に

# オプションをご利用になるには

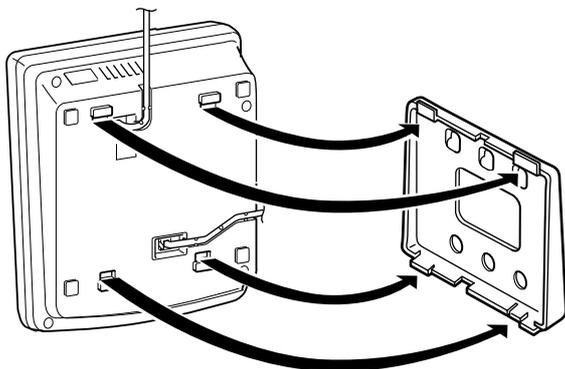
オプションの壁掛け用品をご利用になると、留守番停電電話機を壁に掛けてお使いいただけます。

## 電話機を壁に取り付ける

- 1** 壁掛け用品をネジで壁に取り付けます。

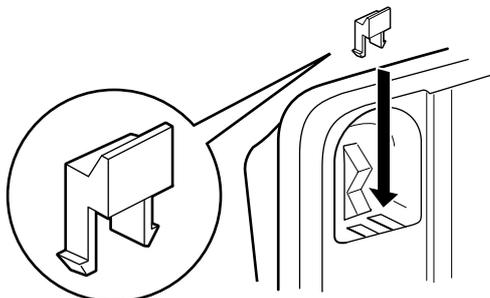


- 2** 電話機を壁掛け用品に取り付けます。  
上側のツメをはじめに差し込み、次に下のツメを指でたわませながら差し込みます。



取り外すときは、下側のツメをはじめに指でたわませながら抜きます。

- 3** 壁掛け用品に添付されているハンドセット受けを電話機に取り付けます。



### ⚠ 注意

ご使用になる前に、確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると、重みでネジが抜けて電話機が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

# 付属品をご利用になるには

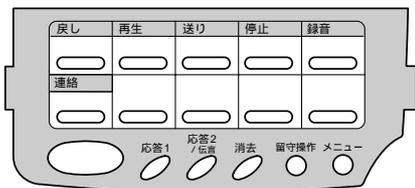
## ワンタッチダイヤルカードを使う

**1** 電話機パネルの下側のくぼみに、先のとがったものを差し込み、上に引き上げます。



**2** ワンタッチダイヤルカードを取り出し、ワンタッチダイヤルに登録した相手先を記入します。

**3** ワンタッチボタンに「マイク」、「会議」などの機能を登録しているときは、ワンタッチダイヤルカードに電話機用シールを貼り付けます。



**4** ワンタッチダイヤルカードをセットして、電話機パネルの左側のツメを電話機に差し込みます。



**5** 電話機パネルをたわませながら、右側のツメを電話機に差し込みます。



**1** 前に  
お使いになる

**2** 使う  
留守番電話を

**3** する  
リモコン操作

**4** 用件を転送する

**5** より便利に使う

**6** ご参考に



### お知らせ

ナンバー・ディスプレイをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイロゴマークのシールを電話機に貼り付けてお使いください。

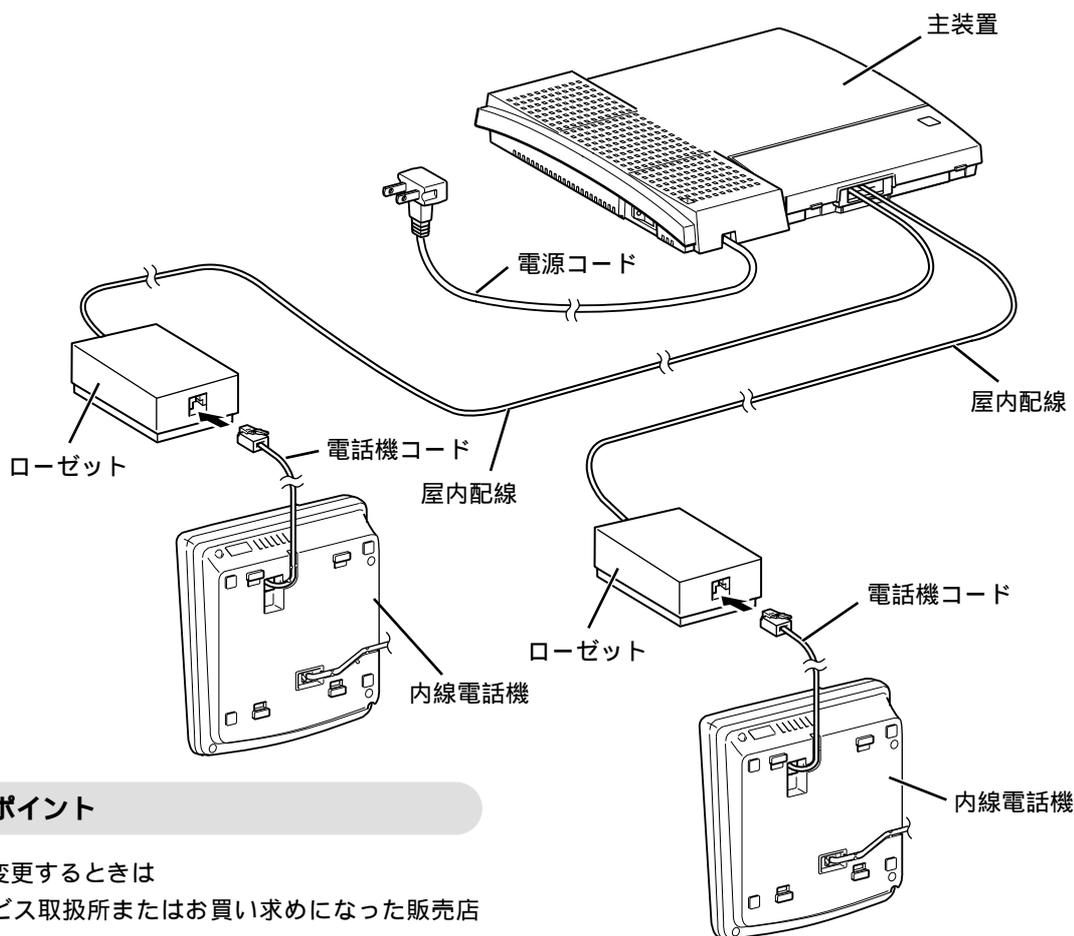


### お願い

ナンバー・ディスプレイロゴマークのシールは、マイクや受話口、およびスピーカには貼らないでください。

# 設置と接続について

最初に設置される場合、内線電話機を増設されたり移設される場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。内線電話機とローゼットは、電話機コードで接続されていますが、お手入れするときなど、コードを外されて再度接続するときは、間違えないようにご注意ください。



## ワンポイント

内線番号を変更するときは  
当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

現在お使いの電話機などを接続するには  
現在お使いの一般の電話機、コードレス電話機、留守番電話機、ファクス、モデムなどの接続については、必ず当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

## STOP お願い

工事設定したスイッチは、設定変更しないでください。

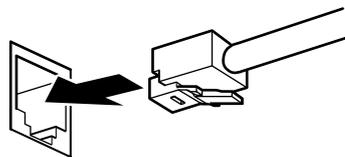


## お知らせ

接続する場合、電話機コードを差し込んでから主装置の電源を入れてください。また、接続し直すときも同様の手順で接続してください。

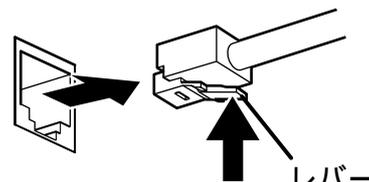
電話機コードは、チューブを押さえて電話機の溝に押し込むように入れてください。

ハンドセットコードや電話機コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

ハンドセットコードや電話機コードを引き抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。

# こんな音がしたら

1  
前に  
お使いになる

2  
使う  
留守番電話を

3  
する  
リモコン操作

4  
用件を転送する

5  
より便利に使う

6  
ご参考に

## こんな音がしたら

	音	こんなときに...	音の意味
電話をかける／受ける	ブブブブ... (内線発信音)	ハンドセットを取りあげたとき または (保留・内線) ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
	ツー (外線発信音)	☎外線1 ☎外線2 ボタンを押したとき	電話をかけられます
	ブーブー... (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
	ブルルル... (外線着信音) 1 2	外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	ブルルルッブルルルッ... (話中呼出音)	お話し中に他の内線電話機から呼び出されているとき	他の内線電話機から呼び出されています
	ブルル... (外線着信音)	内線どうしてお話し中に外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	ビルルル... (停電時着信音)	停電中に相手の方から電話がかかってきたとき	電話がかかってきています
	ブルルッブルルッ... (CES、PBX着信音)	CES(事業所集団電話)やPBX(構内交換機)の内線から電話がかかってきたとき	CES(事業所集団電話)やPBX(構内交換機)の内線から電話がかかってきています
	ブブブブブッ... (内線呼出音)	他の内線電話機を呼び出しているとき または呼び出されているとき	他の内線電話機を呼び出しているか、呼び出されています
	ブーブー... (保留警報音)	保留の状態が続いたとき	保留状態が続いています
登録設定	ピー (登録確認音)	登録を受け付けたとき	登録されました
	ビビビビビ (登録エラー音)	登録に誤りがあるとき	登録エラーがありました
その他	ピッピ、ピッピ... (アラーム音)	アラームの設定時刻になったとき	アラームの設定時刻になりました
	ピンポン (ドアホン1チャイム音)	ドアホン1から呼び出されたとき	ドアホン1から呼び出されています
	ピンポン、ピンポン... (ドアホン2チャイム音)	ドアホン2から呼び出されたとき	ドアホン2から呼び出されています
	ピッ (キータッチトーン)	ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	メロディ (保留音) 1 (外線着信音) 1	電話を保留したとき 外の相手の方から電話がかかってきたとき	電話が保留されています 電話がかかってきています

1 設定によりメロディや音を切り替えることができます。詳しくはお使いのレカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書を参照してください。

2 ダイヤルインサービス契約時に鳴動指定を1台のみに登録した場合、ダイヤルイン着信音は、通常の着信音と異なります。

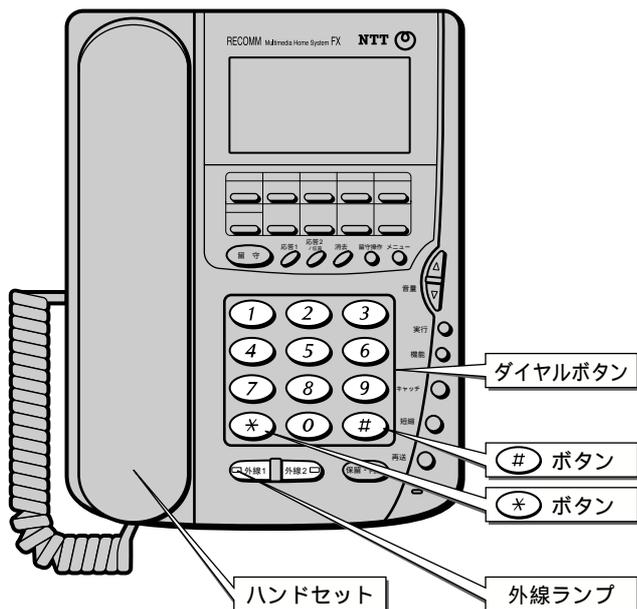
# 停電になったときは

お話し中に停電になると、電話が切れてしまいます。

停電中に電話をかけたり、受けたりするときは、留守番停電電話機をお使いください。

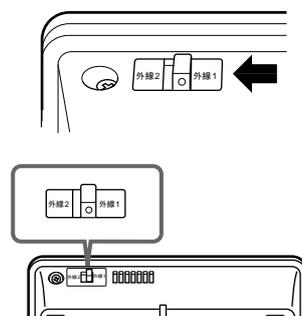
停電中に留守番停電電話機で電話をかけるときは、ダイヤルボタン以外のボタンを押しても利用することはできません。

## 留守番停電電話機を使う



## [電話をかけるとき(アナログ回線)]

**1** 電話機背面の停電切替スイッチを「外線1」または「外線2」に切り替えます。



**2** ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音を確認してください。



### ワンポイント

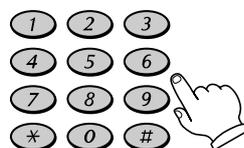
ダイヤル回線 (DP) のとき

\* ボタンはポーズ、# ボタンは再ダイヤル (31桁まで) としてご利用できます。(DP PB切替はできません)

### お知らせ

留守番停電電話機を2台使用されるときは、停電切替スイッチの設定が同じ場合、どちらでも回線につながります。(1台がお話し中にもう1台がハンドセットをあげると3者通話となります。) また、スイッチの設定にかかわらず、ダイヤル回線 (DP) で発信すると2台とも外線ランプが点滅します。32桁以上ダイヤルすると再ダイヤルはできません。

**3** 電話番号をダイヤルボタンで押します。



**4** 相手の方が出たら、お話しください。

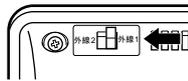


## [電話がかかってきたとき(アナログ回線)]

**1** 着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。



**2** 停電切替スイッチを点滅している外線に切り替えます。



**3** ハンドセットを取りあげて、お話しください。



### ワンポイント

ISDN回線をお使いのときは

- ・電話をかけるとき

ハンドセットを取りあげて、電話番号をダイヤルボタンで押して、電話をかけます。

- ・電話がかかってきたとき

着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて、お話しください。(外線ランプは点滅しません)

- ・通話中は音量ボタンで受話音量を変えることができます。

発信者番号通知サービスをご利用になるときは

発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

		発信者番号を通知する	発信者番号を通知しない
契約内容	通常通知 (通話ごと非通知)	相手の方の電話番号	①⑧④ + 相手の方の電話番号
	通常非通知 (回線ごと非通知)	①⑧⑥ + 相手の方の電話番号	相手の方の電話番号

INSネットサービスで「常時通知拒否」のご契約の場合、発信者番号は通知されません。電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合など、電話をかけられないことがあります。



### お知らせ

ISDN用留守番停電電話機が複数のとき、ご利用できるのは設置時にあらかじめ決めた1台です。

**1**  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

**2**  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を

**3**  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作

**4**  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る

**5**  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う

**6**  
ご  
参  
考  
に

# 停電になったときは

停電時は、留守番機能やナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用できません。また、停電中は、すべての内線電話機のランプとディスプレイの表示が消えます。留守番停電電話機では、電話をかけたなり、受けたりすることはできますが、ダイヤルボタン以外のボタンを押して利用することはできません。

## 停電時には以下のことにご注意ください

停電になったとき	留守番停電電話機	外の相手の方とお話し中	電話は切れます
		保留中	電話は切れます
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
	留守番停電電話機以外の内線電話機	外の相手の方とお話し中	電話は切れます
		保留中	電話は切れます
		スピーカ受話中	電話は切れます
		内線やドアホンとのお話し中	電話は切れます
停電中	留守番停電電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげて、ダイヤルボタンを押してかけてください
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話しください
		電話がかかってきたときは(ナンバー・ディスプレイご利用時にアナログ用留守番停電電話機で受けるとき)	応答時に「ピュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は一度電話を切って、再度着信音が聞こえてから応答すると、相手の方とお話しができます。
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
	留守番停電電話機以外の内線電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
		電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
		内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません



### お知らせ

停電中は、カレンダー・時計表示は消えますが、設定内容はそのままです。

停電中の着信音は、通常時とは異なります。

停電中お話ししているあいだに停電が復旧すると、電話が切れてしまいます。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。

印の参照ページについては、お使いのレカム・マルチメディアホームシステムFX MEタイプ取扱説明書で確認してください。

## 内線電話機（電話をかける／受ける）

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	●P58
	主装置とローゼットが接続されていない	主装置とローゼットを正しく接続してください	●P58
一部の内線電話機が使えない	内線電話機の電話機コードが抜けている	内線電話機の電話機コードを正しく接続してください	●P58
ダイヤルできない	共通発信禁止番号が設定されている	故障ではありません	
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	
	着信音量が「切」になっている	着信音量を「大」「中」「小」のどれかにしてください	
	昼モードまたは夜モードになっている	故障ではありません	
「ツー」という発信音が聞こえない	他の内線電話機が使用している	他の内線電話機のお話しが終わってからかけ直してください	
共通短縮ダイヤルが登録できない	内線番号1の電話機以外の内線電話機から行っている	内線番号1の電話機で登録してください	
	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	
電話機ごとの短縮ダイヤルが登録できない	33桁以上の電話番号を登録しようとしている	32桁までの電話番号を登録してください	
カレンダー・時計が設定できない	内線番号1の電話機以外の内線電話機から行っている	内線番号1の電話機で設定してください	
内線で呼び出すと「プープー...」という音が聞こえ、呼び出せない	相手の電話機がお話中	故障ではありません	
	内線番号が違う	内線番号を確認してください	
内線で呼び出すと他の内線電話機の呼出音が鳴る	内線番号が違う	内線番号を確認してください	
会議通話ができない	他の内線電話機で、会議通話を行っている	他の内線電話機の会議通話が終了するまでお待ちください	
停電時に電話をかけられない	留守番停電電話機以外の内線電話機を使っている	留守番停電電話機でかけてください	●P60
	留守番停電電話機の停電切替スイッチを切り替えていない	停電切替スイッチを「外線1」または「外線2」にしてください	●P60

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る2  
使  
う  
留  
守  
番  
電  
話  
を3  
す  
る  
リ  
モ  
コ  
ン  
操  
作4  
用  
件  
を  
転  
送  
す  
る5  
よ  
り  
便  
利  
に  
使  
う6  
ご  
参  
考  
に

## 故障かな？と思ったら

## 電話機（留守番機能）

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
留守をセット/解除できない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	☛P18,20
応答メッセージ1で留守セットできない	応答メッセージ1が録音されていない（応答1ランプが消えている）	応答メッセージ1を録音してください	☛P19
	停電のため	故障ではありません	☛P60
留守にセットしたとき、応答メッセージが聞こえない	応答メッセージを録音するとき、無音で録音した	もう一度録音をやり直してください	☛P26
	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	
応答メッセージ2で留守セットできない	応答メッセージ2が録音されていない（応答2 / 伝言ランプが消えている）	応答メッセージ2を録音してください	☛P26
	留守をセットしたあと、応答メッセージ2を再生しなかった	留守をセットしたあとで、応答メッセージ2を再生してください	☛P19
	停電のため	故障ではありません	☛P60
応答メッセージを録音 / 再生 / 消去できない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	☛P27
伝言メッセージを録音 / 再生 / 消去できない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	☛P27
留守中に応答しない	停電のため	故障ではありません	☛P60
内蔵の応答専用メッセージに変わる	録音エリアが満杯なため	録音されている用件を確認して消去してください	☛P26
用件がきちんと録音されない	相手の方の声が小さかったため	故障ではありません	☛P22
	相手の方が約10秒間何も話さなかったため	故障ではありません	☛P22
	回線状態が悪いため	用件が不明瞭に聞こえますが故障ではありません	
	相手の方が何も話さずに電話を切った	故障ではありません	☛P22
	お話しの途中で録音が満杯になったため	故障ではありません	☛P22

(つづく)

(つづき)

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
用件が録音できない	用件録音時間の設定が0分(応答専用)に設定されている	設定を変更してください	☛P19,52
	用件が59件録音されている	録音されている用件を確認して消去してください	☛P23,52
	用件が合計で約15分録音されている	録音されている用件を確認して消去してください	☛P23,52
用件を再生/消去できない	通話中もしくは着信中	通話を終えるか、着信が終わるまでお待ちください	☛P27
留守セットしていないのに応答する	タイマ留守設定をしている	タイマ留守を解除してください	☛P54
	在宅自動応答を「アリ」にしている	応答しないようにするには、在宅応答を「ナシ」にしてください	☛P54
留守を解除したとき用件件数がスピーカから流れない	スピーカ音量が小さくなっている	スピーカ音量を調節してください	
応答するまでの着信音の回数が違う	トールセイバに設定されている	留守応答着信回数設定を変更してください	☛P54
転送をしない	転送先の電話番号が登録されていない	転送先の電話番号を登録してください	☛P40
	転送をセットしていない(ディスプレイに「転送」の文字が表示されていない)	転送をセットしてください	☛P42
	転送先がお話し中のため	故障ではありません	☛P42
	転送先で電話に出なかったため	故障ではありません	☛P42
	用件がきちんと録音されていない	故障ではありません	☛P22
	用件が満杯になっていて、録音されていない	録音されている用件を再生して消去してください	☛P23
	留守にセットしていない	留守にセットしてください	☛P18
転送されてきた用件を聞けない	転送先の電話でプッシュ信号を送ることができない	プッシュ信号を送ることのできる電話機を転送先にしてください	☛P44
留守モニタができない	留守モニタを「モニタする」に設定していない	留守モニタを「モニタする」に設定してください	☛P47,52
用件がすぐ満杯になる	アキュムレート録音を「アリ」に設定している	アキュムレート録音を「ナシ」に設定してください	☛P23,54

## リモコン操作

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
外出先からのリモコン操作ができない	留守暗証番号が登録されていない	留守暗証番号を登録してください	☛P32
	ブッシュ信号の出せる電話機で操作していない	ブッシュ信号の出せる電話機で操作してください	☛P31
	留守暗証番号を間違えて押した	正しい留守暗証番号を押してください	☛P34
	最初の#ボタンが認識されない	最初の#ボタンを応答メッセージが止まるまで長めに押してください	☛P33
	携帯電話を使って操作した	音声の再生が終わってから操作してください	☛P30
外出先から伝言できない	伝言メッセージ選択を「ナシ」に設定している	伝言メッセージ選択を「アリ」に設定してください	☛P52

## アルファベット

DP / PB切替スイッチ ..... 9

## 五十音

## 【ア行】

アキュムレート録音 ..... 17,54  
 暗証スキップ電話番号 ..... 34,36,54  
 居留守応答 ..... 47  
 いろいろな機能を登録・設定する ..... 52  
 応答1ボタン ..... 8  
 応答1ランプ ..... 10  
 応答2 / 伝言ボタン ..... 8  
 応答2 / 伝言ランプ ..... 10  
 応答回線種別 ..... 54  
 応答専用 ..... 16,52  
 応答メッセージ  
   自作の応答メッセージ ..... 16,19,27  
   内蔵の応答メッセージ ..... 16,19,27  
 応答メッセージを再生する ..... 27  
 応答メッセージを消去する ..... 27  
 応答メッセージを録音する ..... 26  
 音 ..... 59  
 お話を録音する ..... 45  
 オプション ..... 56  
 音量ボタン ..... 8

## 【カ行】

外出先から用件を聞く ..... 33  
 外線別応答メッセージ ..... 19,54  
 外線別応答メッセージ選択 ..... 19,54  
 外線ボタン ..... 8  
 外線ランプ ..... 10  
 各部の名前 ..... 8  
 壁掛け用穴 ..... 9  
 機能  
   いろいろな機能を登録・設定する ..... 52  
 機能ボタン ..... 8  
 キャッチボタン ..... 8  
 故障かな?と思ったら ..... 63  
 こんな音がしたら ..... 59

## 【サ行】

再送ボタン ..... 8  
 在宅自動応答 ..... 19,54  
 自作の応答メッセージを使う ..... 16  
 実行ボタン ..... 8  
 シャープボタン ..... 8  
 受話口 ..... 8  
 消去ボタン ..... 8  
 スターボタン ..... 8  
 スピーカ ..... 8  
 設置と接続 ..... 58  
 送話口 ..... 8

## 【タ行】

タイマ留守 ..... 19,54  
 タイムスタンプ ..... 21,23  
 ダイヤルボタン ..... 8  
 ダイレクトリモコン  
   ダイレクトリモコン操作番号 ..... 37  
 対話形式音声の内容 ..... 34  
 短縮ボタン ..... 8  
 通話中再生 ..... 46  
 通話中録音 ..... 45  
 ディスプレイ  
   ディスプレイの見方 ..... 11  
   ディスプレイの文字表示例 ..... 12  
 停電になったとき ..... 60  
 伝言メッセージ  
   伝言メッセージ選択 ..... 52  
   伝言メッセージを再生する ..... 29  
   伝言メッセージを消去する ..... 29  
   伝言メッセージを録音する ..... 28

## 転送

転送外線選択 ..... 41,52  
 転送先種別 ..... 39,52  
 転送先種別を設定する ..... 39  
 転送先で用件を受ける ..... 43  
 転送先電話番号 ..... 40,52  
 転送先の電話番号を登録する ..... 40  
 転送先を登録する ..... 40  
 転送に使う外線を設定する ..... 41  
 転送をセットする ..... 42  
 電話機コード差込口 ..... 9  
 電話機を壁に取り付ける ..... 56  
 トールセイバ ..... 16

1  
前に  
お使いになる2  
使う  
留守番電話を3  
する  
リモコン操作4  
用件を転送する5  
より便利に使う6  
ご参考に

**【ナ行】**

内蔵の応答メッセージを使う……………16

**【ハ行】**

番号でできるリモコン操作……………37  
 番号でリモコンを操作する……………35  
 ハンドセット……………8  
 ハンドセットコード……………8  
 ハンドセットコード差込口……………9  
 表示されている連絡先に電話をかける……………24  
 付属品……………7,57  
 フックスイッチ……………8  
 他の留守番電話機の用件を聞く……………48  
 保留・内線ボタン……………8  
 保留・内線ランプ……………10  
 本体……………7

**【マ行】**

前の用件を消去しないで留守セットする……………17  
 メニューボタン……………8  
 メニュー画面……………50

**【ヤ行】**

用件  
     用件の録音時間を変更する……………16  
     用件録音時間……………18,52  
     用件録音全消去……………23,52  
     用件を外出先へ転送する……………38  
     用件を聞く……………22,33,48

**【ラ行】**

ランプの表記……………10  
 リモコン操作でできること……………30  
 リモコン操作で留守セットする……………30,31  
 留守暗証番号  
     留守暗証番号を登録する……………32  
     留守暗証番号を変更する……………32  
     留守暗証番号を間違えたとき……………34,35  
 留守応答着信回数……………16,54  
 留守操作表示ランプ……………10  
 留守操作ボタン……………8

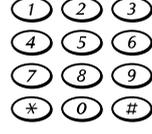
**留守番電話**

留守番電話として使う……………13  
 留守番電話を解除する……………20  
 留守番電話をセットする……………18  
 留守番電話を便利に使う……………16  
 留守連携機能を使う……………48  
 留守ボタン……………8  
 留守モニタ……………47  
 留守ランプ……………10  
 録音可能時間を確認する……………27  
 録音された用件を聞く……………22

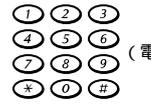
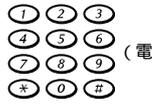
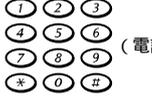
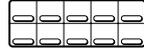
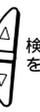
**【ワ行】**

ワンタッチダイヤルカードを使う……………57  
 ワンタッチボタン……………8

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

記号説明	 ハンドセットを取りあげます	 ハンドセットを置きます	 各機能ボタンを押します	 ダイヤルボタンを押します	 メニューボタンを押し、音量ボタン、実行ボタンで、メニュー項目を選びます	 ハンドセットでお話します
------	--	--	--	---	--	---

## 電話をかける / 受ける

項目	操作手順
外へ電話をかける (外線発信)	 →  →  (電話番号) → 
サブアドレスを指定してかける	 →  →  (アドレス) → * →  (サブアドレス) → # → 
ハンドセットを置いたまま電話をかける (オンフックダイヤル)	 →  (電話番号) → 
電話番号を確認してから電話をかける (プリセットダイヤル)	 (電話番号) →  → 
同じ相手にかけ直す (再ダイヤル)	再送 /  →  → 
ワンタッチダイヤルでかける	(ワンタッチボタン)  →  → 
短縮ダイヤルでかける	短縮 /  → (短縮番号) 00 ~ 99 →  → 
名前を検索してからかける (電話帳発信)	メニュー  「1:デンワ チョウ ハツ シン」を選択する → 実行  → 音量  検索文字 を選ぶ → 実行  → 音量  登録内容 を選ぶ →  → 
電話を受ける (外線着信)	 → 
内線でお話する (内線通話)	 → (内線番号) 1 ~ 8 → 

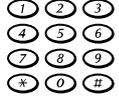


(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

## 音量の調整

項目	操作手順
スピーカ音量を調整する	スピーカ受話中に  音量を調整する
着信音量を調整する	ハンドセットを置いたまま  音量を調整する
ハンドセット受話音量を調整する	お話し中に  音量を調整する

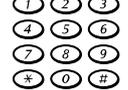
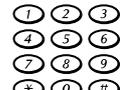
## 通話中の機能

項目	操作手順
お話し中に相手の方に待っていただく(保留)	お話し中に  →  ..... →  →  → 
電話を取りつく(保留転送)	お話し中に  → (内線番号)  ~  → 相手がハンドセットを取って応答したら 
キャッチホンサービスを利用する	お話し中にキャッチホンの信号音が聞こえたら →  /  → かけてきた相手の方とお話しする  →  /  → 前の相手の方とお話しする 
プッシュホンサービスを利用する(DP PB切替)	電話がつながったら  → 
外の相手の方と3人で話(会議通話)	お話し中に  /  または (ワンタッチボタン)  → (内線番号)  ~  → 相手の方がハンドセットを取って応答したら  /  または (ワンタッチボタン)  → 

ワンタッチボタンを使う場合は、あらかじめ会議通話機能を登録しておく必要があります。

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

## いろいろな登録設定

項目	操作手順
ワンタッチダイヤルを登録する	<p>メニュー「2:デンワキキノウトウロク」を選択する → 実行  → ② 「2:ワンタッチダイヤル」を選択する → 実行  → </p> <p>→ 実行  →  (電話番号) → 実行  → 名前を入力する → 実行 </p>
短縮ダイヤルを登録する	<p>メニュー「2:デンワキキノウトウロク」を選択する → 実行  → ① 「1:短縮ダイヤル」を選択する → 実行  →  (短縮番号) ①① ~ ⑧⑧ : 共通短縮ダイヤル ⑨① ~ ⑨⑨ : 個別短縮ダイヤル</p> <p>→ 実行  →  (電話番号) → 実行  → 名前を入力する → 実行 </p>
ワンタッチボタンに内線番号を登録する	<p>メニュー「2:デンワキキノウトウロク」を選択する → 実行  → ③ 「3:ワンタッチキノウ」を選択する → 実行  →  → ① 「1:ナイセンヨビ」を選択する</p> <p>→ 実行  → (内線番号) ① ~ ⑧ → 実行 </p>
ワンタッチボタンに機能を登録する	<p>メニュー「2:デンワキキノウトウロク」を選択する → 実行  → ③ 「3:ワンタッチキノウ」を選択する → 実行  →  → ⑤ 「5:キノウボタン」を選択する</p> <p>→ 実行  → (機能番号) ①:マイク ③:着信履歴 ②:会議(会議通話) ④:モード切替 → 実行 </p>
電話機ごとに名前を登録する (内線ネーム)	<p>メニュー「3:システムキノウトウロク」を選択する → 実行  → ③ 「3:ネームトウロク」を選択する → 実行  → ① 「1:ナイセンネーム」を選択する → 実行 </p> <p>→ (内線番号) ① ~ ⑧ → 実行  → 名前を入力する → 実行 </p>

内線番号1の電話機からのみ登録できます。

## ドアホンをお取り付けのお客様へ

項目	操作手順
ドアホンとお話する	<p>ドアホンからの呼び出し →  → </p>
ドアホンの周囲の音を聞く	<p> → (ドアホン番号) ⑨⑦: ドアホン1 ⑨⑧: ドアホン2</p>

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

## フレックスホンサービスをご利用のお客様へ

項目	操作手順
お話し中に別の相手の方とお話する (INSキャッチホン)	お話し中に「ブップ、ブップ」という音が聞こえたら → キヤッチ/○ → かけてきた相手の方とお話する  → キヤッチ/○ → 前の相手の方とお話する 
3人でお話する (三者通話：切替モード)	お話し中に 機能/○ ↓ (4 9) → (1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / * 0 #) (電話番号) → 相手の方とお話する  → 機能/○ ↓ (4 9) → 前の相手の方とお話する 
3人でお話する (三者通話：ミキシングモード)	お話し中に 機能/○ ↓ (5 3) → (1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / * 0 #) (電話番号) → 相手の方とお話する  → 機能/○ ↓ (5 3) → 3人でお話する 
通話中の電話を転送する (通信中転送)	お話し中に 機能/○ ↓ (5 5) → (1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / * 0 #) (電話番号) →  → 機能/○ ↓ (5 5)
外からの電話を決められた相手の方に直接取りつく(着信転送)	保留・内線 → 機能/○ ↓ (6 1) → (1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / * 0 #) (電話番号) → 実行/○ → (着信モード) (1 ~ 4) → # → 保留・内線

ダイヤルインサービスの着信先(ダイヤルイン番号)として登録されている内線電話機のうち、最も小さい内線番号の内線電話機からのみ操作できます。

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

## 留守番電話として使う

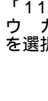
項目	操作手順
留守にセットする / 解除する	
用件1件あたりの録音時間を設定する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行 )○ → 音量  「05:ロクオ ン ジカン」 を選択する → 実行 )○ → (用件録音時間) 0 ... 応答専用 1 ... 1分 2 ... 2分 3 ... 3分 4 ... 4分 5 ... 5分 → 実行 )○
応答メッセージを外線ごとに設定する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行 )○ → 音量  「10:オウ トウ メッセ ージ」を選択 する → 実行 )○ → (外線別応答メッセージ) 0 : ナシ 1 : アリ → 実行 )○
留守応答着信回数を設定する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行 )○ → 音量  「06:チャク シン カイス ウ」を選択す る → 実行 )○ → (留守応答着信回数) 0 ... トールセイバ 1 ... 1回 2 ... 2回 3 ... 3回 4 ... 4回 5 ... 5回 6 ... 6回 7 ... 7回 8 ... 8回 9 ... 9回 → 実行 )○
在宅自動応答を設定する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行 )○ → 音量  「09:ザイタ ク オウトウ」 を選択する → 実行 )○ → (在宅自動応答) 0 : ナシ 1 : アリ → 実行 )○
アキュムレート録音を設定する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行 )○ → 音量  「08:アキュ ムレート ロクオン」を 選択する → 実行 )○ → (アキュムレート録音) 0 : ナシ 1 : アリ → 実行 )○
タイマ留守をセットする	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行 )○ → 音量  「13:タイマ ルス セット」 を選択する → 実行 )○ → (時刻設定 24時間制) → 1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 # (曜日設定) 設定する 0 ... ナシ 曜日ごとに 1 ... アリ → 実行 )○
用件を再生する	留守操作  → 再生  → (用件をもう一度聞く 用件をとばして次の用件を聞く 再生を途中で止める 用件を消去する) 戻し 送り 停止 消去  → 停止  → 留守操作



(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

項目	操作手順
用件を消去する	消去する用件の再生中に 
用件をすべて消去する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行  → 音量  「01:ヨウ ケン オール クリア」を 選択する → 実行  →  :シナイ → 実行  →  :スル または  を押しながら 
応答メッセージを録音する	応答1  または 応答2  →  → 録音が終わったら  → 
伝言メッセージを録音する	応答2  / 伝言 →  → 録音が終わったら  →  あらかじめ伝言メッセージ 選択を「アリ」に設定して おく必要があります。
伝言メッセージ選択を 「アリ」に設定する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行  → 音量  「04:デンゴ ン センタク」 を選択する → 実行  → (伝言メッセージ選択)  ... ナシ → 実行  →  ... アリ
応答メッセージ、伝言メ ッセージを再生する	応答1  または 応答2  / 伝言 →  → 再生が終わったら  → 
応答メッセージ、伝言メ ッセージを消去する	消去  を押しながら 応答1  または 応答2  / 伝言
留守暗証番号を登録する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行  → 音量  「07:アン ショウ パン ゴウ」を選択 する → 実行  →       (留守暗証番号 3~6桁数字) → 実行 
暗証スキップ番号を登録 する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行  → 音量  「12:アン ショウ ス キップ」を 選択する → 実行  →       (暗証スキップ 電話番号) → 実行 
用件の転送先種別を設定 する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行  → 音量  「02:テンソ ウ キノウ」 を選択する → 実行  → 音量  「4:ボケル テンソウ」を 選択する → 実行  → (転送先種別)  :ナシ → 実行  →  :アリ → 実行  →    (メッセージ番号)         
用件の転送先電話番号を 登録する	メニュー「4:ルスパ ン キノウ トウロク」を 選択する → 実行  → 音量  「02:テンソ ウ キノウ」 を選択する → 実行  → 音量  「2:テンソウ サキ パンゴウ」 を選択する → 実行  →    (転送先電話番号)         

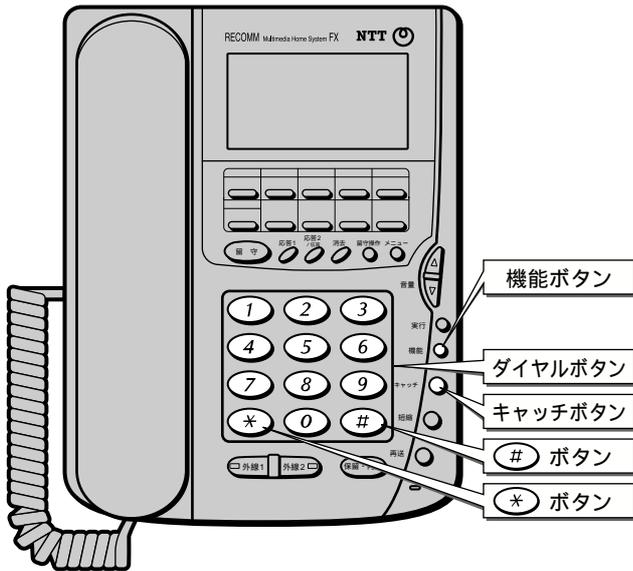
(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

項目	操作手順												
用件転送時に使用する外線を設定する	<p>メニュー「4:ルスパン キノウ トウロク」を選択する                      ↓                      ④</p> <p>→ 実行 ) ○ → 音量  「02:テンソウ キノウ」を選択する → 実行 ) ○ → 音量  「3:ハッシン カイセン」を選択する</p> <p>(外線選択)</p> <p>実行 ) ○ →  : 指定無し → 実行 ) ○                      ① : 外線1                      ② : 外線2</p>												
転送セットする / 解除する	<p>メニュー「4:ルスパン キノウ トウロク」を選択する                      ↓                      ④</p> <p>→ 実行 ) ○ → 音量  「02:テンソウ キノウ」を選択する → 実行 ) ○ → 音量  「1:ヨウケン ロクオン テンソウ」を選択する</p> <p>実行 ) ○ → (転送セット)                      ① : ナシ                      ② : アリ</p>												
転送先で用件を受ける	<p>転送先電話のハンドセットを取りあげる </p> <p>→  → <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td></tr> <tr><td>*⑩</td><td>⑪</td><td>#</td></tr> </table> (留守暗証番号 3~6桁の数字) →  → 用件が再生される</p>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	*⑩	⑪	#
①	②	③											
④	⑤	⑥											
⑦	⑧	⑨											
*⑩	⑪	#											
通話中にお話しを録音 / 再生する	<p>通話中に → 留守操作 → お話しを録音する  → 録音 / 再生が終わったら </p> <p>→ 用件などを再生する </p>												
留守モニタを設定する	<p>メニュー「4:ルスパン キノウ トウロク」を選択する                      ↓                      ④</p> <p>→ 実行 ) ○ → 音量  「03:ルスモニタ」を選択する → 実行 ) ○ → (留守モニタ)                      ① : ナシ                      ② : アリ</p>												
留守応答する回線を設定する	<p>メニュー「4:ルスパン キノウ トウロク」を選択する                      ↓                      ④</p> <p>→ 実行 ) ○ → 音量  「11:アウトウ カイセン」を選択する → 実行 ) ○</p> <p>→ (外線1応答)  : ナシ → 実行 ) ○ → (外線2応答)  : ナシ → 実行 ) ○                      ① : アリ → 実行 ) ○ → ① : アリ → 実行 ) ○</p> <p>→ (ダイヤルイン応答)  : ナシ → 実行 ) ○ → (内線応答)  : ナシ → 実行 ) ○                      ① : アリ → 実行 ) ○ → ① : アリ → 実行 ) ○</p>												



(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

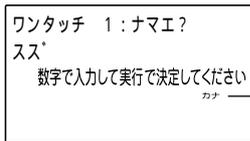
## 名前を入力する



ボタン	機能
① ~ ⑨	カナ/英字/数字を入力する
機能	カナ/英字/数字を切り替える
キャッチ	入力した文字をすべて削除する
①	「英字/カナ」が表示されているとき: カーソルを右に移動する、入力中は確定となる なにも表示されていないとき: ①を入力する
②	「英字/カナ」が表示されているとき: カーソルを左に移動し、移動前の文字を消去する なにも表示されていないとき: ②を入力する

## カタカナを入力する

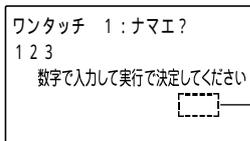
機能ボタンを押して「カナ」を表示させ、右の表のように各ダイヤルボタンを押します。  
文字入力状態に移ったときは「カナ」が表示されています。



カナ入力状態

## 数字を入力する

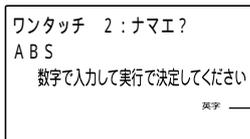
機能ボタンを押して、文字入力表示をなしにし、入力する数字のダイヤルボタンを押します。また、\*を入力するには③を、#を入力するには④を押します。



入力状態表示なし

## 英字/記号を入力する

機能ボタンを押して「英字」を表示させ、右の表のように各ダイヤルボタンを押します。  
文字入力状態に移ったときは「英字」が表示されています。



英字入力状態

		押す回数									
		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
ダイヤルボタン	1	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ
	2	カ	キ	ク	ケ	コ	/	/	/	/	/
	3	サ	シ	ス	セ	ソ	/	/	/	/	/
	4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	/	/	/	/
	5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	/	/	/	/	/
	6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	/	/	/	/	/
	7	マ	ミ	ム	メ	モ	/	/	/	/	/
	8	ヤ	ユ	ヨ	ヤ	ユ	ヨ	/	/	/	/
	9	ラ	リ	ル	レ	ロ	/	/	/	/	/
	0	ワ	ヲ	ン	ゝ	ゞ	-	/	/	/	/

		押す回数							
		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
ダイヤルボタン	1	/	/	/	/	/	/	/	/
	2	A	B	C	a	b	c	/	/
	3	D	E	F	d	e	f	/	/
	4	G	H	I	g	h	i	/	/
	5	J	K	L	j	k	l	/	/
	6	M	N	O	m	n	o	/	/
	7	P	Q	R	S	p	q	r	s
	8	T	U	V	t	u	v	/	/
	9	W	X	Y	Z	w	x	y	z
	0	(	)	-	:	,	.	/	/

## リモコンカード



レカム・マルチメディア  
ホームシステム  
FX

### 留守番電話のリモコン操作

NTT

この操作は必ずプッシュホン(またはプッシュ信号を送ることのできる電話機)で行ってください。

- レカム・マルチメディアホームシステムFXに電話をかけます。
- 応答メッセージが聞こえたら、  
④、留守暗証番号(3~6桁)      、④を押します。
  - 最初の④は応答メッセージが止まるまで十分長めに押すか、押し直してください。
  - 現在の曜日・時刻・応答回線種別・件数および用件が再生されます。再生が終わると「対話形式でリモコンを行う場合は④①④を、直接リモコンを行う場合は④④④を、リモコンを終了する場合は④④④を、どうぞ。」が聞こえます。
- 続けて操作するとき  
対話形式でリモコン操作する場合は、④①④を押し、聞こえてくる音声にしたがって、実行なら④①④、スキップなら④③④を押します。  
ダイレクトリモコン操作をする場合は、④④④を押し、裏面のダイレクトリモコン操作一覧をご参照ください。
- 電話を切るときは④④④を押します。



レカム・マルチメディア  
ホームシステム  
FX

### 留守番電話のリモコン操作

NTT

この操作は必ずプッシュホン(またはプッシュ信号を送ることのできる電話機)で行ってください。

- レカム・マルチメディアホームシステムFXに電話をかけます。
- 応答メッセージが聞こえたら、  
④、留守暗証番号(3~6桁)      、④を押します。
  - 最初の④は応答メッセージが止まるまで十分長めに押すか、押し直してください。
  - 現在の曜日・時刻・応答回線種別・件数および用件が再生されます。再生が終わると「対話形式でリモコンを行う場合は④①④を、直接リモコンを行う場合は④④④を、リモコンを終了する場合は④④④を、どうぞ。」が聞こえます。
- 続けて操作するとき  
対話形式でリモコン操作する場合は、④①④を押し、聞こえてくる音声にしたがって、実行なら④①④、スキップなら④③④を押します。  
ダイレクトリモコン操作をする場合は、④④④を押し、裏面のダイレクトリモコン操作一覧をご参照ください。
- 電話を切るときは④④④を押します。



(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

レカム・マルチメディア  
ホームシステム  
FX

## 留守番電話のリモコン操作

**ダイレクトリモコン操作一覧**

用件再生 .....	⑦ ④	応答2 / 伝言メッセージ消去 .....	④ ④ ③ ④
用件戻し (用件を再生中に).....	① ④	転送セット .....	⑦ ① ④
用件送り (用件を再生中に).....	③ ④	転送解除 .....	⑦ ② ④
用件消去 (用件を再生中に).....	③ ④	転送先変更 .....	⑦ ④ 転送先電話番号 ④
応答メッセージ1録音 .....	④ ④ ③ ④	留守モード解除.....	④ ④
応答メッセージ1再生 .....	④ ④	動作停止 .....	④
応答メッセージ1消去 .....	④ ④ ③ ④	最初の音声に戻る .....	④ ⑦ ④
応答2 / 伝言メッセージ録音.....	④ ④ ③ ④	リモコン操作終了 .....	④ ⑦ ④
応答2 / 伝言メッセージ再生.....	④ ④		

**留守のセットを忘れたら**  
 外出先から電話をかける 着信音を17回鳴らす 応答メッセージが聞こえたら、④、留守暗証番号、④を押す 「留守設定にしました」と聞こえたら ④ ⑦ ④を押して電話を切るか、続けてリモコン操作を行う。

レカム・マルチメディア  
ホームシステム  
FX

## 留守番電話のリモコン操作

**ダイレクトリモコン操作一覧**

用件再生 .....	⑦ ④	応答2 / 伝言メッセージ消去 .....	④ ④ ③ ④
用件戻し (用件を再生中に).....	① ④	転送セット .....	⑦ ① ④
用件送り (用件を再生中に).....	③ ④	転送解除 .....	⑦ ② ④
用件消去 (用件を再生中に).....	③ ④	転送先変更 .....	⑦ ④ 転送先電話番号 ④
応答メッセージ1録音 .....	④ ④ ③ ④	留守モード解除.....	④ ④
応答メッセージ1再生 .....	④ ④	動作停止 .....	④
応答メッセージ1消去 .....	④ ④ ③ ④	最初の音声に戻る .....	④ ⑦ ④
応答2 / 伝言メッセージ録音.....	④ ④ ③ ④	リモコン操作終了 .....	④ ⑦ ④
応答2 / 伝言メッセージ再生.....	④ ④		

**留守のセットを忘れたら**  
 外出先から電話をかける 着信音を17回鳴らす 応答メッセージが聞こえたら、④、留守暗証番号、④を押す 「留守設定にしました」と聞こえたら ④ ⑦ ④を押して電話を切るか、続けてリモコン操作を行う。

## 仕 様

寸法・質量	幅約170 mm×奥行約220 mm×高さ約80 mm・約0.8 kg
消費電力	最大時：約3 W
使用環境	温度：5 ～ 35 湿度：45 %～85 %（結露のないこと）
録音時間	最大録音時間：約15分（通話中録音，応答メッセージを含む）

## 保守サービスのご案内

## 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。「保証書」は主装置等に添付されています。  
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

## 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。  
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

## 保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

## 故障の場合

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

## お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

## その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☎0120 - 109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

## 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。



この取扱説明書は、  
エコマーク認定の  
再生紙を使用して  
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☎0120 - 109217

電話番号をお間違いにならないように、ご注意願います。



©1999 NTTEAST・NTTWEST

本1805-5(99.11)  
FX-RPTTELトリセツ 1